

# マルセン



## 令和元年度 マルセン16号

発行日/令和2年3月  
発行所/公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団  
所在地/〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町1丁目2番4号  
電話/(086) 800-0077 ファックス/(086) 800-0055  
URL <http://www.marusen-zaidan.or.jp/>

(本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています)



公益財団法人  
マルセンスポーツ・文化振興財団

# CONTENTS

ごあいさつ	2
財団法人の概要	3
役員・評議員名簿	6
令和元年度 事業報告	7

## I 公益事業

### 第1章 助成事業関係

1 スポーツ活動に対する助成	7
2 文化活動に対する助成	8

### 第2章 表彰事業関係

1 マルセン栄誉大賞	10
2 マルセン大賞	10
3 マルセン特別賞	10
4 マルセン賞	10

### 受賞者からのひとこと

1 マルセンスポーツ特別賞	平林金属男子ソフトボールクラブ	12
2 マルセン文化特別賞	黒井 千左	13
	森野 美咲	14
3 マルセンスポーツ賞	中尾 駿一	15
	長迫 吉拓	16
	西崎 純郎	17
	フィレモン・キプラガット	18
	山根 美千義	19
4 マルセン文化賞	秋田 美鈴	20
	大森 一樹	21
	備中神楽北山社	22
	藤川 翠香	23

ホットコーナー TOKYO 2020	24
岡山口ケの映画次々	26

贈呈式	28
-----	----

### 第3章 イベントの開催

1 スポーツ	29
2 文化	29

### 第4章 広報啓発育成事業

1 啓発育成事業	30
2 協賛・後援事業	31

## II 財団の活動 法人管理

1 会議等	32
-------	----

## お知らせ

マルセンスポーツ・文化活動助成事業について	34
活動助成事業申請書 記載例	35

## 資料

事業の記録 助成 表彰 イベント・後援等	36
平成30年度収支計算書	47
貸借対照表	48



当財団は、岡山県のスポーツ及び文化の振興発展と県民の皆さまが健康で豊かな心をもって生活できる環境・社会の実現を願い平成16年2月に財団法人を設立し、平成25年4月1日公益財団法人へ移行いたしました。岡山県を元気にとの願いから活動し続け、設立から16年目を迎えることができました。これも運営にあたりご協力をいただきました皆さま方のおかげと厚く御礼申し上げます。

令和元年度もスポーツ・文化活動に対する助成、表彰やスポーツ・文化活動に関するイベント開催、広報啓発活動及び後援・協賛を実施してまいりました。

助成関係では19団体の方々に活動資金を助成し、表彰関係では平林金属男子ソフトボールクラブ様、黒井千左様、森野美咲様をはじめ10名2団体の方々を表彰し、イベント関係では、文化関係はbeyond2020のレガシーのもと日本美術院のご支援を受け、井手康人(同人)先生による「第7回日本画教室(一般県民対象)」、「第8回日本画教室(中高生中心)」を実施いたしました。第8回参加者からはより多くの県民の方々に鑑賞いただけるよう、作品の展示場所を春と正月の院展会場のほか、岡山市北区駅前町にある複合商業施設のイコットニコット様のご協力を得て展示させていただきました。また、岡山県民として他に誇れる文化施設大原美術館様のご協力を得、「大原美術館解説員に名画を学ぶ研修会」を開催し、名画の鑑賞のポイントや大原本邸、新児島館(旧中国銀行倉敷本町出張所)の文化財としての解説をしていただきました。スポーツ関係ではファジアーノ岡山様のご協力のもと小学生を対象とした「サッカー教室」を開催いたしました。参加者はプロのコーチの指導のもと熱心に練習し、盛況のうちに実施することができました。ご縁に恵まれて充実した活動を行うことができましたこと、お力添えをいただきました皆さまに感謝いたしますとともに、今後も県民の皆さまのお役に立てますよう活動してまいりたいと考えております。

この度、今年度の活動記録といたしまして、「マルセン」第16号発刊の運びとなりました。どうぞご覧いただければ幸いです。発刊にあたりご協力を賜りました関係各位に心より感謝申し上げます。

今後とも地域の皆様のスポーツ・文化活動に貢献できますよう、より一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年3月

公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団  
理事長 千原 多美子

## 財団法人の概要

### I 概要

マルセンスポーツ・文化振興財団は、平成16年2月20日付けで岡山県教育委員会の許可を得て財団法人として設立されました。その後、国における公益法人制度の抜本改革として制定された公益法人制度改革に係る3法が平成18年6月2日に公布。平成20年12月1日施行。平成25年4月1日、公益財団法人として新たに歩み始めました。

当財団は、定款第3条に「岡山県のスポーツ・文化の振興発展を支援するとともに県民が健康で豊かな心を持って生活できる環境・社会の実現に寄与することを目的とする。」と規定し、その目的達成のため、次の5項目

- 1 スポーツ・文化活動に対する助成
- 2 スポーツ・文化活動に対する表彰
- 3 スポーツ・文化に関するイベントの開催
- 4 スポーツ・文化に関する広報啓発育成事業
- 5 その他目的を達成するために必要な事業 を定め活動しております。

### II 沿革 (概要)

平成16年2月20日	財団設立
平成16年2月27日	事務所を岡山市富町二丁目4番4号に設置
平成16年3月26日	初代理事長に千原多美子就任
平成16年12月14日	第1回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成16年12月23日	第1回スポーツイベント協賛(第23回山陽女子ロードレース大会)
平成17年2月28日	晴れの国おかやま国体へ助成
平成17年3月10日	広報誌「マルセン創刊号」発刊(表紙 高橋秀氏「InAria『宙』」)
平成17年3月11日	第1回広報啓発育成事業(チケットプレゼント)実施(岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会)
～ 以下 抜粋 ～	
平成18年1月13日	財団のロゴマークの選考・決定
平成18年4月1日	公益法人指導監督担当課の変更により岡山県教育委員会から岡山県知事所管となる
平成18年8月4日	コミュニティライブラリーの設置(岡山市駅前・岡山会館1階) 「晴れの国おかやま国体写真展 ああ感動をもう一度!」 表彰者紹介コーナー・映像コーナーの設置
平成18年11月3日	第1回文化イベント開催(川島 基ピアノリサイタル)
平成19年11月2日	第19回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア2007岡山」「生涯学習見本市」に出展
平成20年3月8日	第1回スポーツイベント開催(少年サッカー教室(岡山湯郷ベル))
平成20年12月1日	新公益法人制度施行により「特例民法法人」となる
平成21年7月17日	事務所を岡山市北区駅前町一丁目2番4号へ移転
平成22年8月12日	新田佳浩氏(スポーツ大賞)表敬訪問
平成23年7月8日	新公益法人制度移行に伴う「最初の評議員の選任方法」の認可
平成23年7月26日	RSKラジオ「おかやま元気応援団」放送開始(活動助成団体による活動状況)

平成 24 年 9 月 21 日	公益法人認定に向けて「移行認定申請書」提出（岡山県知事）
平成 25 年 3 月 8 日	岡山県公益認定等委員会から移行認定答申
平成 25 年 3 月 18 日	認定通知書（交付）
平成 25 年 4 月 1 日	公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団と改称
平成 25 年 6 月 26 日	定時理事会及び定時評議員会において「収益事業の廃止及び定款の一部変更（案）」及び「定款変更申請」承認
平成 25 年 7 月 20 日	第 1 回岡山県文化のつどい開催「美作国建国 1300 年」（共催）～津山洋学・知は海より来る～ 講師 白井洋輔氏・下山純正氏 同 2 回目 9 月 19 日「日本から始まった柔道文化」講師 古賀稔彦氏
平成 25 年 8 月 13 日	創立 10 周年記念展「表彰者色紙展及び自然と遊ぶ写真展」の開催（～18 日）（写真提供 監事 信朝 寛氏）
平成 25 年 9 月 12 日	岡山県老人福祉施設協議会へ「写真の贈呈」
平成 25 年 12 月 6 日	定款変更認定（収益事業廃止）
平成 26 年 6 月 4 日	ホームページをリニューアル
平成 26 年 9 月 15 日	財団新 CM 放映開始。
平成 27 年 8 月 10 日～11 日	高体連ソフトテニス専門部強化事業に講師派遣（職員：杉本瞳）
平成 28 年 6 月 3 日	マルセン文化教室「第 1 回井手康人の日本画教室」（社会人対象）開催 第 1 回井手康人の日本画教室参加者作品発表会開催（春の院展会場にて）
平成 28 年 9 月 29 日	第 71 回国民体育大会に千原多美子理事長・杉本瞳職員（ソフトテニス成年女子選手）を派遣（～10 月 4 日）
平成 29 年 7 月 10 日	おかやま COOLCHOICE! 宣言団体に承認
平成 29 年 10 月 28 日	マルセン文化教室「白井洋輔氏と共に閑谷学校と津田永忠の事跡を巡る研修会」開催
平成 29 年 12 月 14 日	beyond2020 認証を受ける（第 4 回井手康人の日本画教室） マルセン文化教室「平成 29 年度第 2 回（第 4 回）井手康人の日本画教室」開催（中高生対象）
平成 30 年 10 月 24 日	財団創立 15 周年新田佳浩氏・あさのあつこ氏記念講演会実施（さん太ホール）
平成 30 年 11 月 15 日	チケットプレゼント ベートーベン「第九」演奏会（岡山シンフォニーホール 12 月 9 日）
平成 30 年 12 月 22 日	再興第 103 回院展特別講座「親子日本画教室」& マルセンスポーツ・文化振興財団創立 15 周年記念事業「マルセン日本画教室（中高生対象）」実施（山陽新聞社）
平成 31 年 1 月 27 日	マルセンスポーツ教室「岡山リベッツ卓球教室」実施（岡山リベッツ卓球スポット岡山店）
平成 31 年 2 月 14 日	チケットプレゼント 倉敷音楽祭 人形浄瑠璃「文楽」（倉敷市芸文館 3 月 8 日）
～令和元年度～	
平成 31 年 4 月 22 日	臨時第 1 回理事会開催（臨時第 1 回評議員会開催）
令和 元 年 5 月 24 日	平成 30 年度監査実施
令和 元 年 5 月 29 日	第 1 回選考委員会開催（第 16 回表彰等）
令和 元 年 6 月 11 日	定時第 1 回理事会及び臨時第 1 回評議員会開催
令和 元 年 6 月 22 日	マルセン文化教室「第 7 回井手康人日本画教室」実施（山陽新聞カルチャープラザ）
令和 元 年 6 月 24 日	チケットプレゼント 第 74 回春の院展倉敷展（倉敷市立美術館 6 月 29 日～7 月 7 日）
令和 元 年 6 月 26 日	定時評議員会（書面）開催（平成 30 年度事業報告及び収支決算の件）
令和 元 年 7 月 5 日	臨時第 2 回理事会（代表理事選任の件）
令和 元 年 8 月 23 日	第 2 回臨時選考委員会（岡山障害者文化芸術協会主催きらぼしアート展協賛の件）
令和 元 年 8 月 27 日	チケットプレゼント 2019LPGA ステップ・アップ・ツアー山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ 9 月 20 日～22 日）
令和 元 年 9 月 9 日	臨時第 3 回理事会（岡山障害者文化芸術協会主催きらぼしアート展協賛の件）

令和 元 年 9 月 18 日	チケットプレゼント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第 62 回定期演奏会「ジャン・チャクムル! 岡フィルと共演」（岡山シンフォニーホール 10 月 20 日）
令和 元 年 9 月 24 日	チケットプレゼント 舞台ペコロスの母に会いに行く（岡山市民会館 10 月 2 日）
令和 元 年 11 月 2 日	マルセン文化教室 大原美術館解説員に名画を学ぶ研修会（美術館本館他 11 月 2 日）
令和 元 年 11 月 14 日	チケットプレゼント 東儀秀樹×古澤巖×coba コンサートツアー 2019FINAL TOUR（岡山市民会館 12 月 9 日）
令和 元 年 11 月 15 日	令和 2 年度活動助成金応募受付開始（令和 2 年 1 月 20 日まで）
令和 元 年 11 月 22 日	臨時第 2 回評議員会開催（北尾好昭評議員辞任に伴う三木栄氏選任の件） チケットプレゼント V1 女子岡山シーガルズ×日立、岡山シーガルズ×デンソー（県立体育館 12 月 21 日、22 日）
令和 元 年 11 月 23 日	マルセンスポーツ教室「ファジアーノ岡山サッカー教室」実施（ICOTNICOT 屋上フットサルコート）
令和 元 年 11 月 25 日	第 16 回マルセン賞表彰式及び活動助成金贈呈式挙行
令和 元 年 12 月 10 日	「おかやま元気応援団! 2019」（助成団体活動報告）RSK ラジオ放送 ～令和 2 年 1 月 16 日まで
令和 元 年 12 月 11 日	第 3 回臨時選考委員会（書面）開催（岡山県スポーツ協会名義後援の件）
令和 元 年 12 月 12 日	チケットプレゼント 再興第 104 回院展（岡山天満屋 1 月 2 日～15 日）
令和 元 年 12 月 22 日	マルセン文化教室「第 8 回井手康人日本画教室」実施（岡山県天神山文化プラザ）
令和 元 年 12 月 26 日	臨時第 4 回理事会開催（岡山県スポーツ協会名義後援（第 4 回おかやまスポーツフェスティバル）の件）
令和 2 年 1 月 4 日	第 8 回井手康人日本画教室参加者作品展示 1 月 15 日まで（岡山天満屋葦川会館）
令和 2 年 1 月 22 日	第 8 回井手康人日本画教室参加者作品展示 2 月 2 日まで（ICOTNICOT）
令和 2 年 2 月 12 日	第 4 回選考委員会開催（令和 2 年度活動助成金選考等）
令和 2 年 2 月 13 日	チケットプレゼント 倉敷音楽祭 倉敷のヴィルトゥオーゾ Vol5（倉敷芸文館 3 月 15 日）※新型コロナウイルスの感染拡大のため開催中止
令和 2 年 2 月 20 日	チケットプレゼント 倉敷音楽祭 AUN クラシック・オーケストラコンサート（倉敷芸文館 3 月 17 日）※同 開催中止
令和 2 年 2 月 27 日	チケットプレゼント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第 63 回定期演奏会「日本の音楽界の将来を担う若手音楽家が岡山に集結! ～奇跡の瞬間を見逃すな!～」（岡山シンフォニーホール 3 月 22 日）※同 開催中止
令和 2 年 2 月 28 日	臨時第 5 回理事会開催（臨時第 3 回評議員会実施の件等）
令和 2 年 3 月 23 日	定時第 2 回理事会及び臨時第 3 回評議員会開催（次年度事業計画、予算の件等）
令和 2 年 3 月 吉日	広報誌「マルセン」16 号発刊

# 役員・評議員名簿

令和2年3月31日現在

## 役員 定数8名

役職名	氏名	会社名
理事長	千原 多美子	(株)成通 取締役
常務理事	千原 秀則	(株)センインターナショナル 代表取締役社長
理事	加計 孝太郎	(学)加計学園 理事長
〃	川崎 誠治	(学)川崎学園 理事長
〃	越宗 孝昌	(株)山陽新聞社 相談役
〃	吉岡 洋介	(公財)ワコースポーツ・文化振興財団 理事長
監事	衣笠 和孜	岡山療護センター センター長
〃	小林 彬二	元岡山県美作県民局長(現岡山放送(株)特別参与) 五十音順 敬称略

## 評議員 定数10名

役職名	氏名	会社名
評議員	石井 正人	岡山ネットワーク(株) 代表取締役社長
〃	北尾 好昭	(株)瀬戸内海放送 常勤顧問(11月11日退任)
〃	桑田 茂	RSKホールディングス(株) 代表取締役社長
〃	塩飽 哲文	岡山エフエム放送(株) 代表取締役社長
〃	千原 行喜	(株)成通 代表取締役社長
〃	土井 雅人	テレビせとうち(株) 代表取締役社長
〃	中川 弘之	西日本放送(株) 岡山本社 中国総支社 支社長
〃	中静 敬一郎	岡山放送(株) 代表取締役社長
〃	平松 掟	平松弁護士事務所
〃	藤田 土義	(株)成通 相談役
〃	三木 栄	(株)瀬戸内海放送 執行役員岡山本社代表(11月22日就任) 五十音順 敬称略

## 顧問 定数3名

役職名	氏名	所属
顧問	伊東 香織	倉敷市長
〃	大森 雅夫	岡山市長
〃	田中 建治	前財団事務局長 五十音順 敬称略

# 令和元年度 事業報告

## (I)公益事業

### 第1章 助成事業関係

岡山県内において、スポーツ・文化の振興及び発展に寄与するため下記の諸事業に助成を行いました。

#### 1 スポーツ活動に対する助成 (応募数 / 15件 採用件数 / 9件内辞退1件)

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
1	倉敷フィギュアスケートクラブ	第8回倉敷フィギュアスケートクラブ応援感謝デー	災害復興支援としてフィギュアスケートを通して地域を明るく元気に活性化させることを目的として企画しました。全日本や全国大会で活躍している現役選手に協力を依頼しました。会場には、五輪経験者などのフィギュアスケート関連の展示を行い、会場全体でフィギュアスケートを体感できるように盛り上げました。さらに災害復興へのエールとして観戦招待シートをスケートリンク正面に準備し、HPなどの広報活動により、災害を経験された60名ものお客様にお越しいただきました。フィギュアスケートを地域の皆様にご覧いただくことで、復興支援に向けて地域に元気を与えることができました。また、イベント内容は地域のテレビ局や新聞社も多数お越しになり情報発信していただきました。助成がなければこのようなイベントはできなかったと深く感謝しています。
2	NPO法人 やかげスポーツクラブ	第1回矢掛町民ふれあいスポーツ吹矢大会	いつでも、だれでも気軽にスポーツに親しむことができる環境づくり、及び町民のみなさんの親睦を図ることを目的とし、様々な教室、大会を企画運営しています。今年度は、小学生から80代の幅広い年齢の方々に参加をいただき、親睦を図ることができました。運動が苦手、得意に関係なく、年齢も関係なく勝敗が決まります。参加者全員が笑顔でプレーをすることができました。しかし、2月1日という開催時期があまりよくありませんでした。体育館がとても寒かったので、次回はもう少し暖かい時期に開催したいと思っております。また、参加者が多かったため、待ち時間が長くなってしまいました。コートを増やして対応しようと考えています。
3	岡山バラ・パワーリフティングクラブ	パワーリフティング体験会	岡山バラ・パワーリフティングクラブは、岡山県または他地域でのバラ・パワーリフティング、パラスポーツの普及をし、パラスポーツを通してノーマライゼーションの確立に寄与する活動を目的としています。日本代表コーチの岡本を中心に、選手4名、トレーナー2名、コーチ2名で活動をしています。現在ジュニアでの日本記録を二階級保持しています。年間3回の大会出場をメインにトレーニングに取り組んでいます。また、競技普及を主とした体験イベントへの参加、講演依頼に応じています。 「バラ・パワーリフティング」とは、パラリンピック競技の一つで、下肢に障がいがある方が対象のベンチプレス1種目の競技。胸・肩・上腕の三頭筋のみでバーベルを持ち上げます。 「晴れの国スポーツ & ホストタウンフェスタ(2019/8/18、岡山イオン)」、「ノックアウトマルシェ(2019/10/26、岡山駅東口広場)」、「台湾女子・日本代表バラ・パワーリフティング選手強化キャンプ 地元交流事業(2019/12/20、岡山大学教育学部附属小学校/2019/12/21、社会福祉法人旭川荘)」において体験会を実施しました。 下肢に障がいがある選手によるデモンストレーション、競技の説明を行った後、競技用のベンチ台に足を載せ、胸・肩・上腕の力だけでバーベルを持ち上げる体験を参加者に促しました。 限られた身体力を生かして競技に取り組む選手に驚いた方、競技に興味を持ってくださる方と多く交流することができました。「足の力に頼らず、バーベルを持ち上げるのは難しい。車いすの選手なのに、力持ちだと知って驚いた」「障がいがあってもスポーツができる」といったコメントを多くいただきました。
4	東岡山ジュニアドラゴンズ	軟式野球	東岡山ジュニアドラゴンズは、2004年より学童軟式野球チームとして活動しています。学童野球を通じて、心身の健康、体力の増進及び社会性や協調性を学ぶことを目的としています。この度、軟式野球の公認球変更により、新公認球への入れ替えをさせて頂きました。選手達は、真新しいボールでバッティング練習や守備練習を、今迄以上に真剣に練習に取り組んでおります。沢山の方々に支えられ、野球をさせて貰っていることを、改めて教えることができました。安定した団員確保に向け、小学校・公共施設等へのポスター・チラシ配布及び、低学年・保育園・幼稚園を対象とした、野球教室等の活動も行い学童野球を広めていきたいと考えています。
5	金光吉備小学校ソフトボール少年団	第15回金光吉備小杯ソフトボール大会	「あいさつが出来る」「道具を大切に」「皆でひたむきに取り組む」を合言葉に、ソフトボールを通じた心身の成長を目的としています。9月に「第15回金光吉備小杯ソフトボール大会」を開催しました。今年度は岡山県内から13チーム、広島県内から3チーム、計16チームの参加を得る大会となりました。今回初の試みとして、ソフトボール未経験の子どもたちにソフトボールに親しんでもらう場を提供するべく、バッティング体験会も計画しました。ここで、助成によるホームベース、バッティングティー、バッティングネットを用い、2つのバッティンググースを設置することが出来ました。なお、本大会は、選手や指導者、保護者をはじめ多くの参加者が集まることから、不慮の事故に備えて助成でAEDをレンタルしました。幸いAEDを使用する場面はありませんでしたが、準備しておかげで安心して大会運営が出来ました。どのチームも団員が減少傾向にあるため、様々な機会にソフトボールの楽しさを伝えていきたいと思っております。
6	岡山平井剣道スポーツ少年団	剣道稽古・試合参加	剣道を通じて忍耐力を養い、自主的・自発的に取り組める人間形成を目標に掲げています。昭和50年(1975年)7月に平井学区コミュニティ剣道クラブの名称を以て創部。5年後に岡山平井剣道スポーツ少年団と名称を改めました。部員23名、指導者6名と時代とともに人数は減少しましたが、岡山市の大会、稽古会に積極的に参加し、親子共々頑張っています。貴財団からの助成決定の通知を受けて、すぐに開催される試合も多く控えていたため8月に胴6個を購入させていただきました。以前は上級生、卒団生の使用していた防具をみんなで利用していましたが、衛生面からもよくないので各個人で購入してもらっていました。それぞれにばらつきがありましたので、大会に出場するときは統一したいと試合用の胴6個を購入しました。真新しい胴を購入した影響で部員、保護者ともに剣道用具に関心を持ち、防具を大切にすることを学ぶよい機会となりました。稽古の成果はまだまだ出てきていませんが、練習方法や内容を全員で作りに上げていき、安定した技術の習得できる剣道部にしてほしいと思っております。そして、対外的に部の活動を知ってもらう場所を設け、1人でも多くの子どもたちに日本の伝統の一つである剣道に携わってほしいと思っております。
7	成羽太陽ベースボールクラブ	第38回学童軟式野球成羽大会	「歴史と文化のまち成羽」を舞台に学童軟式野球成羽大会を開催しました。県内外から11チームを招待し、大会をとおしてチーム同士の交流を深め互いに切磋琢磨し競技力の向上を図ることを目的としました。高梁市なりわ運動公園野球場及び多目的グラウンド(2面)を会場に3グループに別れて各会場の優勝盾(杯)を目指して競いました。本大会は、今回で38回目の開催となり、県下で行われる学童軟式野球大会の中で最も歴史ある大会として多くのチームの参加をいただいています。各会場を防球ネットで行ったことにより、安全に競技を行いホームラン賞を授与する事が出来ました。昨年の西日本豪雨災害により高梁市全体での被害は大きく、その復旧に膨大な予算が必要となったことから、毎年交付を受けていた高梁市からの大会運営補助金は凍結となり、自主財源にて運営することとなりました。団員数の減少に伴い運営にあたるスタッフも減少傾向にある中、30年以上続くこの大会を今後も継続して開催できるかが今後の課題となります。

8	宇治学園・町民大運動会実行委員会	宇治学園・町民大運動会実行委員会	高梁市の北西部に位置する全校生徒17名という小規模の昼間定時制高校。隣接する幼稚園・小学校との合同運動会をより充実させるために助成を受けました。購入した綱を実際に使用し、体育館で小学校と合同で綱引きの練習を行いました。また、老朽化したリ、数が不足していたりしたコーンやマーカも購入し運動会で使用しました。 今年は天候に恵まれて運動会当日に綱を使用しなかったが、雨天時を想定した体育館内での練習に非常に役に立ちました。綱の巻き取り器も購入させていただいたため、準備や片付けもスムーズに行うことができました。
9	吉田唄菜を応援する会	アイスダンス競技力向上活動	辞退

(各団体活動報告から)

## 2文化活動に対する助成(応募数/28件 採用件数/11件)

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
1	わおんの会	世にも楽しい音楽会II	音楽を通して地域の人と交流し、地域住民が明るく潤いのある生活を送る手助けをすとともに、チャリティーコンサートとして寄付を募り、災害被災地に義援金を送る目的に活動しています。2ヶ月に1度開いているクリニックチャリティーコンサートが50回を超えた記念に今まで出演くださった皆様に参加いただき、大きなホールでのチャリティーコンサートを開催しました。オーケストラは、ピアノ、エレクトーン、フルート、オーボエ、ホルン、チェロの小編成でしたので、広い舞台と一緒に上がって演奏したので、より一体感が得られました。助成をいただいたことで、大きなホールでより多くの方々にご来場いただき、クラシック音楽の楽しさを知っていただくと同時に、募金活動にもご協力いただくことができました。出演者側は、オペラの制作に関わることで、皆で協力し合って一つのものを作り上げる喜びと達成感を得ることができました。
2	Piacere/Coro Piacere/コーラル・ファミーユ	七夕ジョイントコンサート	声楽家大森友美子さんが主催する声楽集団Piacereを母体とし女性アンサンブルCoro Piacereが結成されました。作曲家なかにしあかね氏は昨年の西日本豪雨災害に心を痛め、かねてより親交のあった大森に声をかけ、チャリティーコンサートを企画しました。大森が指導するCoro Piacere、コーラル・ファミーユを中心に総社市、高梁市の中学校合唱部、今年4月3日にカーネギーホールで演奏した女性合唱団「TOMO」有志、Le Voce有志が賛同し合唱を披露しました。満席で客席も近く、会場が一体となって災害復興を願う感動的なコンサートとなりました。
3	中川地区盆踊り大会実行委員会	がんばれ! 中川中川地区盆踊り大会	地域づくりとして盆踊りを通して、先祖の霊を弔うとともに地域間世代間などの交流親睦を図っています。2018年7月の豪雨被災を受け、復旧復興として地域全体が一つとなり「がんばろう! 中川」を合言葉に準備を進めてきました。地域が繋がっている力を「行燈」の絵や文字等で表現するために、園児から高齢者までお願いし300個の行燈ができあがりました。しかし、開催当日(8月14日)は台風10号の接近で会場を体育館に移しての開催を思っておりましたが、風雨が予想以上に激しく開始3時間前にやむなく中止いたしました。盆踊りで用意していたもの等があり、急きよ9月1日、公民館の庭にて納涼・抽選会を開催しその場を皆さんがつくった「行燈」で演出いたしました。初めての試みでしたが、地域の方より行燈は高評価をいただきました。行燈の絵や文字を描いて披露することによって、その行事に参加したという連帯感が生まれてよかったです。
4	岡山シンフォニーホール	岡山フィルハーモニック管弦楽団第60回定期演奏会	岡山シンフォニーホールを拠点とする岡山初のプロオーケストラとして、1992年に創設。以来、定期演奏会をはじめ、若い演奏家の育成事業、青少年の情操教育に資する事業、子育て支援や地元演奏団体との共演等、地域における音楽芸術振興の中心的役割を担っている。 2013年より岡山フィル初の首席指揮者にシェレンベルガーを迎え、2017年日本オーケストラ連盟準会員加盟、首席コンサートマスターの採用、2018年全国公募オーディションによる首席奏者の採用とオーケストラの改革を進めており、さらに官民あがりの支援組織「岡フィルを育てる会」も発足し、一層の岡フィルブランド力向上に努めている。岡フィルの魅力アピールし、新たな観客の掘り起こしとファン層の拡大を図り、岡山におけるオーケストラ文化の確立の一助となるべく演奏活動をした。岡フィルの首席指揮者に就任して7年目を迎えた、元ベルリンフィル首席オーボエ奏者のシェレンベルガー自身の演奏会で、観客とも一体となって岡山シンフォニーホールが一つの芸術空間となり、感動を共有できた演奏会となった。最終的には年8回の定期演奏会開催を目指しているが、恒常的な資金確保、チケット販売、広報PRに関する課題があり、それには「おらがまちのオーケストラ」として岡山市民・県民に愛されるよう、さらなる岡フィルの魅力向上と発信力が必要であると考えている。
5	千屋牛追唄地元保存会	「千屋牛追唄」全国大会の開催・地域のイベント等(尺八演奏活動)	「千屋牛追唄」の保存継承活動と「千屋牛」並びにその「関連産業」の応援団として活動することを目的としております。現在、新見市立千屋小学校児童の有志11人と大人15人で活動しています。小学2年生から83歳まで幅広い超異年齢集団で構成されています。「唄」「寸劇」「尺八」の3部会を充実させるために、アイデア・創意工夫を凝らし、いつも四苦八苦しながら取り組んでいます。この度助成いただき、尺八を購入いたしました。プラスチック尺八との音の違いを確認しながら、皆で回しながら練習しています。11月に「千屋牛追唄発表会」の開催、また「千屋健康まつり」に出演し、贈呈いただいた「尺八」を観客の皆様にご披露・展示し、演奏することができました。今まで、プラスチック尺八での演奏が主であったので、本物の尺八が演奏に加わり、演奏の音や唄、出演等に重みが出ていたので感謝しています。観客の満足度も上昇し、今後の活動に期待が高まります。
6	近代日本音楽研究会	出口裕子ソプラノリサイタル歌集「鶴」	西洋音楽と日本音楽のコラボレーションにより、それぞれの音楽の素晴らしさを体感してもらうことを目的としています。今年度は、出口裕子ソプラノリサイタル歌集「鶴」を開催しました。約280名の方々にご鑑賞いただき、お客様より「声楽、和楽器の演奏のすばらしさを改めて知ることが出来た。アンコールで赤とんぼを和楽器と共に歌ったことに感動した」等の感想をいただき、皆様に体感していただけたことをうれしく思います。クラシック、邦楽共に会場へ出かけて生演奏を聞くという方々は少なく、料金を低く設定して、気軽に本物に接することが出来るようなコンサート、講演会が必要だと考えています。
7	詩の会・ネビュラ	朗読会「午後のボエム」NO.12	詩の朗読を通して、言葉の豊かさ、朗読することの楽しさを味わってもらおう。2008年6月に詩誌「ネビュラ」を創刊。以後、隔月刊で発行を続け、2019年10月に69号を発行した。現在の同人・会員数は30名。毎年10月に朗読会「午後のボエム」をオリエント美術館地下講堂で開催している。今年で12回目を迎える。今年度は、朗読会「午後のボエム」NO12を開催。朗読は、音響設備の効果によって、言葉の伝達力が違ってくるが、今年は助成のおかげで、マイクの調整もうまくできて、とても聞きやすかったと好評であった。詩を朗読すること、詩の朗読を聴くことで、言葉の豊かさを味わい、詩を身近に感じてもらいたい、と始めた朗読会である。回を追うごとに、楽しみに待っていてくださる方が増えてきたが、若い人たちの裾野を広げていくことが今後の課題である。

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
8	総社芸術祭実行委員会	第4回 総社芸術祭2019	初回となる総社芸術祭2019に向け、2012年8月、総社芸術祭実行委員会を立ち上げました。第4回目となる今回のテーマは「赤と黒」に加え、サブテーマ「総社の力」を全面に押し出し、市民会館での「総社ゆかりの作家展」をメインに、市内の高校、大学の学生とのコラボレーション、市民会館でのステージ、公募による野外ステージパフォーマンスのほか、食文化や古代歴史展示など様々な文化で「総社の力」を感じていただきました。メインとなる総社ゆかりの作品展では、歴史に名を残す偉人から、現役作家まで様々なジャンルの総社にゆかりのある作家の作品を市民会館内に一堂に展示しました。出品者については、作家36人中故人を除くと20人が総社市在住、また故人も含めると全てが総社市ゆかりの作家の作品を展示しました。今回の芸術祭では、市民が気軽に訪れることのできる市民会館を装飾して美術館の雰囲気を感じていただき、市民の機運を高めることができました。古代吉備文化から1000年、雪舟誕生から600年。総社は、こんなに優れた作家を輩出しているということを知っていただきました。プラチナウィークということもあり15日間で延べ2万人もの来場をいただきにぎやかに行うことができました。
9	瀬戸内市立美術館	企画展「東原方展」	地元ゆかりの芸術家を取り上げることで、美術に関する情報発信とともに、ひろく一般市民に美術鑑賞の機会を提供し、芸術文化の振興、魅力あるまちづくりに寄与することが目的です。東原方展が1936年に文展招待展で出品した作品「時雨」を服部養老会館から運ぶ輸送費、また、仲崎邸にある大型作品の輸送費、チラシ・ポスターなどの送料に充てました。輸送した作品は両者ともに、今回の展示の目玉となる作品です。「時雨」は東原方展が官展に出品した作品の中で、所在が明らかになっている2点の作品のうち1点です。平成に入ってから展覧会で展示された記録はなく、本展覧会が美術館での約80年ぶりの公開となります。所在は明らかになっていましたが、外すことを考えられていない設置方法や額縁の重量により、輸送が大変難しいと展覧会での展示を断念されてきました。今回の展覧会でも当初は展示の予定に組み込まれてはいませんでしたが、マルセンスポーツ文化財団さんの助成を受け、業者に頼んで運ぶことができました。良い作品を借りてくることができても、広告をしなければ来館者は増えません。今回、ポスターやチラシもマルセンさんの助成により多くの施設に送ることができました。来場者数は総計734人でした。来場者の目的は「時雨」や仲崎邸の作品が主であり、助成が無ければここまで来場者数は見込めなかったらと思うられます。今後も、地域に貢献し魅力ある展示を開催する美術館として活動を広めていく所存です。
10	岡山県高等学校文化連盟	第43回岡山県高等学校総合文化祭・総合開会式 高校生芸術フェスティバル2019	岡山県内の高等学校文化祭が集まって組織されており、合唱、演劇、ダンス、吹奏楽、写真、美術・工芸、書道、日本音楽、放送文化、郷土芸能、器楽・管弦楽、マーチングバンド・パトントワリング、囲碁、将棋、弁論、文芸、吟詠剣詩舞の17部門(吟詠剣詩舞は体部中)があります。岡山県高等学校総合文化祭の一環として部門ごとに発表や展示を行うほか、文化祭の総合開会式としての「高校生芸術フェスティバル」の開催や、指導者講習会等の実施の支援など、高等学校における文化活動の活性化、レベルの向上を目指しています。各部門の発表会等を経て選出された県代表は、全国高等学校総合文化祭に出場し、岡山県の高中生による文化発信とともに、全国の高中生との交流を行っています。国際文化交流は、平成元年度の全国高等学校総合文化祭(岡山大会)をきっかけに開始されました。県内高等学校文化祭と韓国、中国の高校との文化交流が現在まで続いており、岡山県高生生の友好の輪を国際的に広げています。高梁総合文化会館(岡山県高梁市)を会場にして行った高校生芸術フェスティバル2019では、17部門31校、前日のリハーサルを含め延べ481人が参加して演技や演奏、作品の発表を行いました。また、国際文化交流事業の一環として、上海市の陸行(ルーハン)中学校から招いた高校生たちと玉島商業高等学校の和太鼓部のメンバーがともに演奏を披露しました。高生生の芸術文化活動の成果を総合的に発表し県民の皆様にも知ってもらうことができ、高校生においてもジャンルを超えて部門の相互交流ができました。
11	KIDS ☆ FES	KIDS ☆ FES	2018年に発足したKIDS☆FESは、子供達(～中学生まで)が企画した内容をイベントとして偶数月に開催しています。また、それに付随する宣伝をラジオ、テレビ、SNS等で活動の一環として行っています。子供達の「やってみよう」を「できる」に変えたい、発表会ではなく自己表現のできる場所を子供達に提供したいと考え活動しています。助成金は、宣伝の時に使うKIDS☆FESの旗の作成とイベントの時にKIDS☆FES存続基金としてオリジナルタオルを作成販売させて頂いています。作らせて頂いたKIDS☆FESの旗のおかげで、SNS等での反響は著しく、県外からの参加希望者が増え、県外からのお客様も回を重ねるごとに増えています。毎回開催して思う事は、発表会のように決められた事だけをするのではなく、イレギュラーなことも楽しんで自分らしさをさらに追求できるように、子供達同士で励まし合い助け合い、イベント自体も成長していきたいです。

(各団体活動報告から)

## 第2章 表彰事業関係

### ① マルセン栄誉大賞

平成30年度スポーツ・文化活動において、大賞受賞者で、更なる功績をあげた者。

#### 【マルセン栄誉大賞】

該当者なし

### ② マルセン大賞

平成30年度における国際大会・全国大会等において、著しく活躍された個人・団体又はスポーツの振興に多大な功績のあった者。文化の振興に著しく貢献した個人又は団体。

#### 【マルセンスポーツ大賞】

該当者なし

#### 【マルセン文化大賞】

該当者なし

### ③ マルセン特別賞

平成30年度における国際大会・全国大会等において特に優秀な成績を収めた個人、団体又はスポーツの振興に相当な功績があった者。文化の振興に特に貢献した個人又は団体。

#### 【マルセンスポーツ特別賞】

##### ● 平林金属男子ソフトボールクラブ 【球技(ソフトボール)】

- 平成14年創部以来、平成20年日本リーグ決勝トーナメント初優勝をはじめ、数々の好成績を収め西日本リーグ4連覇、チーム初となる国内主要タイトル4冠を達成したことは県民に誇りと感動を与えた。

#### 【マルセン文化特別賞】

##### ● 黒井 千左 【美術(陶芸 虫明焼)】

- 虫明焼に京焼の技術を取り入れることで、茶陶の美意識が伝えられ形成の技術・姿・格好・薄手で端正な芸風・高尚華美などその作風を求めるため山土の確保、釉薬の改良、配合の研究など長きにわたり研鑽している。伝統技法のほか、様々な新技をもちいることで各方面から高く評価されている。

平成16年瀬戸内市制施行後、「瀬戸内市文化協会」設立に尽力し、平成22年以降県美術展覧会審査委員を務めるなど地域文化の向上発展に大きく貢献した。

##### ● 森野 美咲 【音楽(声楽 ソプラノ)】

- 高校生の頃から才能を発揮し山陽学生音楽コンクール3連覇し、平成27年には新進芸術家在外派遣員に選ばれ、ウィーンを拠点に西欧オーケストラとの共演を重ねキャリアを積み、海外の国際コンクールにおいて上位成績を収めている。国内においては、昨年我が国最高峰の日本音楽コンクール声楽部門1位に輝いた。また、昨年9月岡山で初のソロリサイタルを成功させるなど、この活躍は県民の誇りである。

### ④ マルセン賞

平成30年度における国際大会・全国大会等において優秀な成績を収めた個人、団体又はスポーツの振興に功績のあった者。文化活動において、文化の振興に貢献した個人又は団体。

#### 【マルセンスポーツ賞】

##### ● 中尾 駿一 【水泳(競泳 自由形)】

- 第18回アジア競技大会水泳競技男子50m自由形3位に続き、第73回国民体育大会競泳成年男子50m自由形優勝は、県民に感動を与えた。

##### ● 長迫 吉拓 【自転車(BMX)】

- 全日本選手権5連覇を含む6度の優勝を飾り、昨年は男女を通じて日本勢初となるアジア競技大会自転車競技(S26'51第1回大会)33秒669での優勝は、県民に感動を与えた。

##### ● 西崎 純郎 【アニマル(馬術)】

- 平成21年吉備中央町に岡山乗馬倶楽部を立ち上げ、クラブ員の指導するとともに自ら障害馬術の第一人者として活躍している。昨年静岡県で行われた国体(福井国体)の馬術大障害飛越に愛馬のエクスカリバー号と出場し、嬉しい国体初優勝を飾り県民に感動を与えた。

##### ● フィレモン・キプラガット 【陸上競技(競走 障害)】

- 高校国際記録にあと2秒と迫る成績で平成30年度全国高等学校総合体育大会陸上競技男子3000mSCに大会記録で優勝、第69回全国高等学校駅伝競走大会3区区間賞を収めた。このことは在校生・同窓生のみならず、県民に感動を与えるとともに将来への期待をもたらした。

##### ● 山根 美千義 【ウォーター(カヌー)】

- スプリントからワイルドウォーター競技転向1カ月後に挑んだ国体の県予選を突破し県代表。2014年27歳のときに行われた「第69回国民体育大会」では念願の優勝を果たした。その後は、数々の大会で優勝を飾り、2016年の「日本カヌーワイルドウォーター選手権大会」を制し、日本ランキング1位となるなどその活躍は目を見張る。また、国体3連覇を目指しながら、後進の育成にも力を入れていること活躍は大である。自身では国体連続優勝を果たす優秀な成績を収め、県民に感動を与えた。

#### 【マルセン文化賞】

##### ● 秋田 美鈴 【美術(彫刻 塑造)】

- 岡山大学大学院在学中より「県展」において県教育長賞を受賞して以来、日彫展及び県展において受賞を重ね、昨年は国内最大級の公募展「日展」において、特選を受賞した。その成績は若き作家のホープであり、県民の誇りである。

##### ● 大森 一樹 【総合芸術(バレエ)】

- 中学校卒業まで岡山市でバレエの練習に専念し、17歳で単身ポルトガルに留学し、表現力により一層の磨きをかけ、ベルリン国際ダンスフェスティバル3位入賞、大柄な外国人選手が居並ぶ中、高い身体能力で高く軽やかなジャンプと豪快な開脚など天性の体の柔らかさを最大限生かした躍動的なダンスで審査期間2週間にも及ぶヴァルナ国際バレエコンクール3位となる快挙を成し遂げた。この成果は県民の誇りである。

##### ● 備中神楽北山社 【伝統芸能(舞踊 神楽)】

- 備中神楽は、岡山県西部の備中地方一帯に伝承されている神楽であり、昭和54年2月国の重要無形民俗文化財に指定され、備中地方の秋祭りや荒神祭りで奉納され氏子により継承されてきた。少子高齢化や過疎化により伝承が危ぶまれる中、備中神楽北山社は神楽の保存普及と後継者の養成に力を注ぎ、平成28年4月には神楽専用の常設舞台とゲストハウスを開設し、ゲストハウス1階ロビーは交流スペースとしての能舞台を併設しており備中神楽の体験や公演及び魅力を広く発信している。こうした積極的な活動は、伝統芸能の保存・伝承に大きく貢献しており、地域文化の振興・啓発活動に顕著である。

##### ● 藤川 翠香 【美術(書 かな)】

- 国内最大級の美術の公募展「日展」において、平成27年から毎年入選を重ね、昨年は特選を受賞し顕著な成績を収めたほか、岡山県の書道の振興のため各種の役員を務め、県民の書道に対する功績には顕著なものである。



## 受賞者からのひとこと

### マルセンスポーツ特別賞

球技(ソフトボール)・平林金属男子ソフトボールクラブ



## 男子ソフトボールを メジャースポーツに

この度は、第16回マルセンスポーツ特別賞に選出いただき誠にありがとうございます。また、いつも温かいご声援をいただき誠にありがとうございます。

私たちは、2018年シーズンに5つある国内主要大会のうち4つの大会(全日本クラブ選手権大会、第73回国民体育大会、西日本リーグ、日本リーグ決勝トーナメント)で優勝することができました。この創部以来最高となる成績を収めることができたのも、ひとえに皆様のご声援があったからだと思っています。

この成績に満足することなく、チーム目標である「国内タイトル全制覇」を目指して、引き続き練習を続けたいと思います。

まだまだマイナー競技である男子ソフトボールの面白さや迫力、スピードをPRし、男子ソフトボールをメジャースポーツにすることも私たちの目標の一つです。2020年の東京オリンピックでは、女子ソフトボールが正式種目として復活しましたが、男子ソフトボールは残念ながら正式種目に採用されていません。

いつか男子ソフトボールがメジャースポーツになる日を夢見て、私たちは、ただ「勝つ」だけではなく、グラウンド内外で男子ソフトボールの魅力を伝えていきたいと思っています。

男子ソフトボール最大の魅力は「スピード」です。私は投手をしており、最速で129km/hのボールを投げることができます。これは野球で換算すると、体感180km/h近くにもなり、間近でみる男子ソフトボールはとても迫力があります。

ぜひ、グラウンドで私たちの試合を観ていただき、男子ソフトボールの迫力を体感していただけたらうれしいです。

ソフトボールを楽しみながら、「勝ち」にこだわり、男子ソフトボールの魅力を発信していけるよう、努力していきますので、引き続きご声援の程よろしくお願い致します。

主将 松田 光



### マルセン文化特別賞

美術(陶芸 虫明焼)・黒井 千左



## 受賞にあたり

この度は栄えあるマルセン文化特別賞という名誉ある賞を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

陶芸王国岡山県といたしましては、何といたしまして、無釉の備前焼が主流であります。その中にありまして、備前とは真近にありながらも、全然趣向の違う釉薬のかかった焼き物が虫明焼であります。私の使用している釉薬は、主に釉の原点である松の灰を焼いて作った灰釉が主原料であり、色合いが非常におとなしく、おちついた雰囲気であきのこない色調が一番の魅力であると信じています。

「日本一清楚な焼物虫明焼」と題した展覧会が淡交会主催で開催されていましたが、このおとなしい素朴な味が、全国の愛陶家に愛されてこれたのではないかと想像しています。伝統の窯もやはり一番大事なのは、原料の土であり土が変わる事により、色彩・味も大きく変わってきます。常にあちらこちらと素材である粘土を採取し、又釉薬の方も毎回窯焼きの毎度に、テストピースを入れ研究しています。そしてこの伝統から一味違った自分だけのオリジナリティーなものが、何か造れないか、色々考え作り出したのが、象嵌手法の作品でありました。四十年程前からこの彩土による象嵌にこだわりやっけてまいりました。そしてそれを進化させたのが、グラデーションによる色の変化の彩色象嵌であり、又ゴム抜きによる模様、叩、練込と色々な手法を駆使しながら色々なものに挑戦してまいりました。しかしながる思い通りにいかないのが現状であり、失敗は大いにありますが、次の窯へ夢を託して頑張っている状況であります。

やればやる程面白い仕事であり、夢のある仕事には間違いありません。伝統は常に生きて流れているものであり、時代の流れが伝統であります。常に現代のいぶき、感覚を入れながら進化したいと思っています。

このすばらしい賞を一つの励みとして、ますます努力していかねばと心新たにしています。今後共皆様方のご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。



## マルセン文化特別賞

音楽(声楽 ソプラノ)・森野 美咲



## 音楽への感謝の気持ち

この度はマルセン文化特別賞に選定いただきまして、誠にありがとうございます。

私は2011年より、オーストリア共和国の首都、音楽の都とも呼ばれるウィーンにて研鑽を積んで参りました。オペラ歌手と言うと一見華やかな世界に見えますが、歌手自身による地道な技術練習や稽古はもちろん、演出、構成、舞台の大道具や小道具、衣装、マネージメントや宣伝など、本当にたくさんの方々の協力の上で一つの舞台が成り立っています。この度の受賞を受け、日頃私が舞台に立つために支えてくださるたくさんの方々にまず感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

街中が音楽にあふれているウィーンでは、歌を歌うということは、魂と魂の交換だという風に教わりました。聞いてくださるお客様とコミュニケーションを取り、そこで生まれる音楽を共有することが、音楽芸術の真髄であるということです。

昨今はタブレット一つで世界中どこでもさまざまなメディアを使って気軽に音楽を聴くことが可能になり、音楽芸術の可能性は格段に広がったように見えます。しかし、音楽芸術にはどうしても生でしか感じることでできない「何か」があります。それは、お客様と演奏者との間、その空間に生じるその瞬間だけの芸術であり、決して録音、録画したものでは全てを共有することのできない「何か」でもあります。

さまざまな文化事業が縮小し、私たち芸術家にとって研鑽を続けながら一つの道を極めていくということが、決して簡単ではない昨今ではありますが、クラシック音楽という伝統的な音楽芸術を継承してかつ絶やさないためには、私たちの世代の音楽家達が、生演奏の機会を持ちながらも、新しい音楽芸術のあり方や可能性に積極的に挑戦していくことが必要だと感じています。どんな時にも音楽への愛と感謝を忘れずに、これからも信念を持って国内外で一人でも多くのお客様に歌をお届けできるよう精進していく所存です。

最後になりましたが、マルセン文化財団様の今後のますますのご発展をお祈りし、感謝の気持ちを込めて受賞のお礼の挨拶とさせていただきます。



## マルセンスポーツ賞

水泳(競泳 自由形)・中尾 駿一



## 故郷岡山から東京五輪へ

まず初めに、この度はマルセンスポーツ賞という素晴らしい賞を受賞する事ができ、大変光栄に思っておりますと共にマルセンスポーツ・文化振興財団千原理事長をはじめ関係各位に心より感謝申し上げます。

私は小学四年生から水泳を習い始め、これまで競技を続けて参りました。

水泳を始めたきっかけは、当時仲の良かった友人と一緒に泳ぎたいとの思いからでしたが、いつしか水泳の魅力にとらわれ、もっと速く泳ぎたいという思いへと変わっていました。

競技成績が急激に良くなったのは大学三年時で、全日本学生選手権において、それまでは決勝に進むことすら出来なかった50m自由形で優勝する事が出来ました。

それから数回日本代表に選出され、世界の舞台で戦い、良い経験を積みませて頂きました。

私は倉敷市の出身ですが、故郷岡山への思いが強く、進学をする上では関東・関西圏などの強豪校から勧誘を受けましたが、その全てをお断りして岡山で水泳を続けてきました。

私は長い間競技を続けていますが、その中で家族や岡山県の関係者の方々、県民の皆様、周りの友人達など多数の方に支えられ、応援して頂いてここまでやってこることが出来ました。

その恩返しは水泳で良い結果を出すことで出来ると私は考えております。

その最終目標が故郷岡山からの東京オリンピック出場です。

スポーツの力で岡山県に大きな希望と勇気を与えていきたいと思っております。

昨年度は国民体育大会での優勝やアジア大会での銅メダルを獲得することができましたが、これに満足する事なく、東京2020オリンピックに向けてさらなる努力を積み重ねていきたいと思っております。

今後とも格別なるご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



## マルセンススポーツ賞

自転車(BMX)・長迫 吉拓



## お礼お言葉

この度は、マルセン賞受賞を聞いて、とてもうれしく思っております。答えのない自答自問の毎日、自分と向き合う事が、日々の仕事のように感じますが、このような賞を頂いて、1人ではない力強いサポートがついていると感じています。

多くの人に被害をもたらした一昨年の西日本豪雨、僕の友人も被害に遭いボランティアに向かい衝撃の光景を目にしました。テレビ越しで見るニュースの比にならないぐらいショックを受けました。

僕一人の力の無さを目の当たりにしましたが、人が集まると不可能が可能になることを学びました。

翌月その結果が、アジア大会の優勝につながったと信じています。

リオ五輪に出場しましたが、結果というものは何もなく、心が無くなった時間がありました。時間と共に表彰台からの景色が見たい気持ちが強く湧いてきて、今現在は東京五輪を目指しています。

僕の目標は自転車競技全体が世界に通用するシステムを作り上げること、東京オリンピックで競技人生の区切りをつけようと思っています。

残り短い現役人生ですが、その後の人生に生かせるようないろいろなモノを見て経験していきたいと思っております。

スイスを拠点にヨーロッパのレースを転戦しているため、授賞式には行けず申し訳ありません。

日本に帰る事が少なくなっていますが、SNS等で情報発信しているので、東京五輪までのプロセスを身近に感じて頂けると幸いです。

日々、応援して頂いている各スポンサー企業様や家族、仲間、そして、今回僕をこの表彰に推薦して頂いた全ての方々に感謝しています。

本当にありがとうございます。



## マルセンススポーツ賞

アニマル(馬術)・西崎 純郎



## 馬との出会い

このたびは栄えある「マルセンススポーツ賞」をいただき大変うれしく思います。

僕は13歳の時に乗馬を始め、すぐに競技馬術にのめり込んでいきました。思春期のさなか、馬との出会いは当時の自分に必要な温もりや癒やしや達成感などさまざまな場面を与えてくれました。

15歳の時に国体に初出場して以来、地元岡山には長年にわたりたくさんのサポートをして頂き、競技者としての経験や実績などを積み重ねてもらいました。

また、2005年の岡山国体では地元選手として出場させて頂きましたが、天皇杯の得点を獲得することができず、競技別の総合優勝も逃してしまうという苦い経験があったので、国体で恩返しさせてもらいたいという思いが続いていた目標であり、アスリートとしてのモチベーションでもありました。

そして、17回目の国体出場となる「2018年 福井しあわせ元気国体 成年男子国体大障害飛越競技」においてようやくその積年の思いを晴らすことが出来ました。

馬術競技は騎乗者の技術うんぬんだけでなく、パートナーとなる愛馬とお互いにコミュニケーションを深めながら信頼関係を築かなければ、成績はおろか出場することすらできません。名馬「エクスカリバー」に出会えた事を馬主さんをはじめ、関係の皆様には本当に感謝しております。

2020年の東京オリンピック挑戦とはいきませんでした。2021年にスウェーデンで開催されるワールドカップファイナルの出場権をかけたジャパンリーグにエクスカリバーとともに挑んでみたいと思っております。

それと同時に今後はより一層、岡山乗馬倶楽部グループの既存活動として行っている後進選手の育成に励み、障がい者就労や障がい児療育にホースセラピーの活用を促進し、引退した競走馬にセカンドキャリアを創出する人馬一体の福祉活動をさらに推進して、マルセンススポーツ賞の名に恥じぬよう、岡山に根付き岡山を活性化し、馬を通じた中山間地域の新しいまちづくりを創造していきたいと思っております。



**マルセンススポーツ賞** 陸上競技(競走 障害)・フィルモン・キブラガット

**全国高校総体3連覇**

第16回マルセンススポーツ賞に選出していただき、大変ありがとうございます。

私は、15歳でケニアから留学して来ました。最初は、ケニアと日本の文化が違うのでとても戸惑い不安でしたが、チームメイトがよく私の面倒を見てくれたので安心して生活ができました。

1年生で全国高校総体の3,000M障害に出場しました。何もわからず無我夢中で走った結果、大会新記録で優勝することができました。日本に来て初めてのビッグタイトルでしたので、とてもうれしかったです。

2年生の時は、全国高校総体前に世界ジュニア陸上選手権でフィンランドに行き、総体の3日前に日本に帰ってきたので、コンディションは悪かったですが、何とか優勝することができました。

12月には、全国高校駅伝があり初めて駅伝を走ることになりました。先輩から8位でタスキをもらい、そこから1位まで順位を上げることができました。

3年生になり、最後の高校総体では3,000M障害の高校記録を破ろうと思い沖縄に行きましたが、台風の影響でスタートの時は、風速11メートルという最悪の気象条件でした。競技中も風が強くて、とても苦しかったです。優勝こそしましたが、記録は3年間で一番悪かったです。とても残念でしたが唯一の救いは全国高校総体で3連覇したことです。

日本での高校生活は、とても有意義で楽しかったです。これもいろいろな所で皆さんが親切に面倒を見てくれたおかげだと大変感謝しています。

最後に私の夢は、オリンピックに出場することです。その夢を叶えるために、これからも一生懸命に頑張ります。ありがとうございました。


**マルセンススポーツ賞** ウォーター(カヌー)・山根 美千義

**マルセンススポーツ賞  
受賞にあたって**

この度は、第16回マルセンススポーツ賞に選んで頂きありがとうございます。

私がやっているカヌー競技はヨーロッパではメジャーですが、日本ではまだまだマイナーな競技です。リオデジャネイロオリンピックで羽根田卓也選手が銅メダルを獲得し、少し認知度が上がったと思います。

カヌー競技を始めて今年で19年目で今の種目が変わって13年目です。自分でもびっくりするほど長年カヌー競技に取り組んでいると思います。カヌーを始めたきっかけは中学校でやりたい部活動が無くなっていて、それで友達に誘われてカヌーをやり始めました。

楽しく練習とかしていたけど、最初の冬は寒くて3カ月程練習を休んだ時期もありました。その結果中学校、高校と6年間友達に一度も勝つことが出来ませんでした。

成年選手になって種目を変えてからは、仕事や家庭があったりして自分の思うような練習も出来ず成績が全くでない時期もありました。それでもコツコツと1人で練習をしたり中高生と一緒に切磋琢磨していると、少しずつ結果が出てきだしてうれしくなりました。

特に自分が一番大きく成長出来たきっかけは世界選手権に参加したことです。海外の川は日本と違い距離もとれて波も大きく流れも速く普通に練習するだけで質のいい練習が出来ました。海外の川を経験すると日本の川が簡単に感じて波とかの恐怖心とかも小さくなり、視野が広がり判断力も速くなり落ち着いて対処出来るようになりました。

今後は競技者として頑張るのはもちろん、中高生の育成など小さな子供たちにもカヌーの楽しさを知ってもらえるように頑張っていきたいです。

これからも第一線で活躍出来るように、周りからの助けがあり今の自分があることを忘れずに頑張っていきます。



## マルセン文化賞

美術(彫刻 塑造)・秋田 美鈴



## 受賞に寄せて

この度はマルセン文化賞という栄誉ある賞を賜り、大変ありがたく光栄に思います。授賞理由は、2018年の改組新第5回日展第三科彫刻での特選受賞を評価していただいたことと伺っております。関係の皆様方に心より感謝申し上げます。

彫刻には、木や石を彫ったりする“彫造”と粘土で造形する“塑造”という大きく分けて二つの手法がありますが、私は後者に取り組んでいます。塑造の例にロダンの《考える人》を挙げると、なじみのない方にもよく納得していただけます。

塑造との出会いは、大学2年の授業で、自刻像(絵でいう自画像)をつくったときのことです。お世辞にもうまくできたというわけでは全くありませんでしたが、「これだ」という不思議な直感があったことを覚えています。根拠も目的もない出発でしたが、制作を重ねるごとに、この道で間違っていなかったと、直感が確信に変わってきているように感じるのです。

制作に夢中になる時間は、喜びや楽しいといった言葉では表現し足りないほどに、私が私らしく生きていく上でかけがえのないものです。一方で、賞などの良い評価をいただいたりすることに対しては、「うれしい」よりも「つらい」という気持ちの方がずっと大きい。芸術の評価というのは、絶対的なものさしによるものではないと感じる場面が多くあります。その評価に値する作品であったか、いつも自問せざるを得ません。対外的な良い評価につらいと感じるのは、自分で胸を張れるような作品がまだできないからです。「私はまだまだこんなもんじゃないぞ」という自信の裏返しであると言えば、ポジティブに聞こえるでしょうか。

本頁に紹介いただいている作品は、第6回日展に無鑑査出品した作品です。特選の翌年ということで、いつもに増して緊張感があったのですが、会場で自分の作品を見たとき、前年の複雑な気持ちが少し晴れたような、ほっとした思いと同時に、過去の評価に恥じないために、日進月歩でより良い作品をつくり続けていくほかないと気が引き締まる思いがしました。

この度のマルセン文化賞受賞は、今まで以上に多くの方に作品を見ていただくきっかけともなり、私にとって大変励みになるものです。応援して下さる方、支えて下さる方へ、これからの制作で応えていきたいと思っています。この度はありがとうございました。



《まにまに》改組新第6回日展(2019)無鑑査出品

## マルセン文化賞

総合芸術(バレエ)・大森 一樹



## 私とバレエ

このたびは、栄誉ある賞をいただき、ありがとうございます。

私は6歳からクラシックバレエを始めました。岡山市内の中学校を卒業後、京都で一人暮らしをしながら専門学校で学びました。そして17歳でポルトガルに留学、2年間バレエ漬けの日々を過ごしました。今日までの14年間、それぞれの環境で新たな経験や出会いがあり、人として、ダンサーとして自分を成長させることができたと思っています。

特に、昨夏のブルガリアでの「バルナ国際バレエコンクール」では、経験したことのない大舞台で、各国のダンサーたちと競い合いました。屋外に設けられたステージは、開放感がある一方で、急な雨や暑さなど条件がどんどん変わりました。リハーサルや審査が真夜中にまですれ込むなど、過酷を極めました。そんな環境の下で、半月にわたる長い審査。体力面でも精神面でも、本当の強さが求められるタフなコンクールでした。3位入賞という結果が出せたことは、プロのダンサーとしての進路を考える上で大きな収穫になりました。表彰式では、支え続けてくれた両親や先生、友人への大きな感謝の気持ちがこみ上げました。

今秋から、デンマークのバレエ団でプロとしてのキャリアをスタートさせます。欧州には、どの国にも伝統のあるバレエ団や劇場があり、優秀なダンサーが集まってきます。日本に比べ、バレエが身近で観客の目も肥えています。デンマークをはじめ、さまざまな国で経験を積むことで、自分を磨き続けたいと思います。

将来的には日本に帰国し、バレエの素晴らしさを伝えていくつもりです。自分を育ててくれた岡山に、少しでも恩返しができるかと考えています。



## マルセン文化賞

伝統芸術(舞踊 神楽)・備中神楽 北山社



## 「祭に生きる芸能文化」

このたびは、マルセンスポーツ・文化振興財団のマルセン文化賞という栄ある賞を賜り誠にありがとうございます。ご推薦いただきました関係者皆様に心よりお礼を申し上げます。

明治、大正、昭和、平成そして令和と激動の中で北山社は120年にわたりプロの神楽社中として連綿と継承して参りました。

こうした伝統を守り続けて来れたのも地域の氏子皆様や神楽ファンの温かいご支援のお陰であると感謝致します。

神楽は古事記、日本書紀を脚本に能、歌舞伎の所作を取り入れた最も古い神事芸能です。神楽を習うには厳しい修行の中、口授口伝で指導をしていただき奥深い芸能として完成されるからこそ、備中神楽が愛され岡山県の郷土芸能として定着し観客を魅了していると考えます。

昭和54年に国の重要無形民俗文化財に指定を受け国内だけでなく海外公演に出かけ日本文化の紹介をしております。

このように隆盛を極めた神楽も第二次世界大戦により敗戦国として神楽の奉納ができなくなった時期もありましたが先輩方の努力により今に引き継がれている。困難の中でも備中神楽は郷土の大切な宝として、魂として残っている。その思いを岡山県民として知っていただきたいと考えています。

国の文化財に指定されながら本来の備中神楽を見た人は少ないのではないかと想像いたします。

そこで、少しでも多くの方がいつでも見られる機会を設けたいと考え平成28年に井原市駅前に、神楽の常設舞台を併設したゲストハウスを建設し神楽鑑賞の環境を整えました。定期公演は、広報活動等すべて自分たちで動員をし手弁当でやってきました。満席の時もありますが、席が埋まらないと不安とリスクが大きくなり次回の公演ができなくなるという不安も常にあります。

しかし、お客様が備中神楽を初めて見て感動したと言われるのが唯一救いです。

その他、全国レベルの芸能大会や石見神楽など他地域の神楽とも共演し成果をあげています。また子供神楽の育成にも北山社中全員で指導しており将来が非常に楽しみです。

この備中神楽を未来永劫、伝えていくためにはユネスコ無形文化遺産として世界遺産認定に向け努力し、岡山の誇りにしたいと考えています。



## マルセン文化賞

美術(書 かな)・藤川 翠香



## マルセン文化賞

この度は、マルセン文化賞を受賞させていただきまして、誠にありがとうございました。理事長の千原多美子様、推薦いただいた倉敷市長伊東香織様をはじめ、関係の方々に心より、心より御礼申し上げます。

私は、書道の中でも「かな書」を書いております。書作の作業というものは、一人静かな時間・空間において、面々で行うものでありまして、古典・古筆を基に自分を鍛え、個性と感性の内でもオリジナルのものを創作してまいります。日本独自の文化なので、千年も前の文字を研究しつつ、現代性・芸術性を醸し出すのは、大変魅力的ではありますが、終着点のない深遠な世界です。

幼少の頃より、書くことが好きで、文字に興味を持ち、三十歳で文化勲章を受章された故高木聖鶴先生とのご縁を得て、今日の私があると思っています。今後も師匠の生き方・思想を継承しながら、精進してまいりますと意を新たにしております。

また、一般の方々にも、次世代の若い方々にも“書”というものに関心を持っていただき、日常生活の中で“書”を身近に暮らしていただけるよう、少しでもお役に立ちたいと考えております。

この度の賞を励みに、生涯学習として、真摯に研鑽を積んでいく所存です。



令和元年10月「岡山県の書展」にて、席上揮毫の場面(岡山天満屋6F)

# ホットコーナー

## TOKYO 2020

### 岡山アスリート

東京五輪の開幕(7月24日)まで半年を切った。夏季五輪の国内開催は実に56年ぶりとなる。果たして、何人の岡山ゆかりのアスリートが夢舞台に立てるのか。1月末現在の状況をまとめた。

◇

既に五輪代表が内定しているのは女子選手2人。マラソンの前田穂南選手(天満屋)は、昨年9月に行われた東京五輪代表選考会「マラソングランドチャンピオンシップ」で圧勝し、五輪切符をつかんだ。

もう一人は、柔道女子78キロ超級の素根輝選手(環太平洋大)。昨年の世界選手権とグランドスラム大阪大会で、ロンドン五輪金メダリストのオルティス(キューバ)をいずれも決勝で破って初優勝を果たし、代表に決まった。

あの女子ゴルファーも注目度では負けていない。昨年、一気にスターダムを駆け上がり、有力候補となった岡山市出身の21歳、渋野日向子選手だ。実質プロ1年目だった昨シーズン。AIG全英女子オープンの最終18番で5メートル超のウイニングパットをねじ込み、通算18アンダーで日本勢42年ぶり2人目の海外メジャー制覇を果たした。東京五輪代表は今年6月末の世界ランキングで決定、原則として各国2枠、世界ランキング15位以内なら4人まで出られる。



素根輝選手

その他の個人競技はどうだろう。

2012年ロンドン五輪の陸上に出場した新谷仁美選手(東京陸協、興譲館高出)は一昨年復帰し女子1万メートルでの出場が濃厚だ。短距離女子の斎藤愛

美選手(大阪成蹊大、倉敷中央高出)は400メートルリレーのメンバー入りに挑戦する。

男子400メートル障害の安部孝駿選手(ヤマダ電機、光南高出)は岡山を拠点に鍛錬し、一時の不振を脱出した。優勝した昨年日本選手権で東京五輪の参加標準記録を突破しており、最有力候補に名乗りを上げた。

前回リオデジャネイロ五輪に続く出場に向け、追い込み段階に入ったのはライフル射撃の岡田直也選手(ALSOK、津山工高出)。昨秋の代表1次選考会でトップの得点をマークした。馬術の原田喜市選手(蒜山ホースパーク)も昨年11月の全日本馬場馬術選手権の五輪種目グランプリで4年ぶり2度目の優勝を飾った。

自転車ではBMX男子の長迫吉拓選手(MXインターナショナル、笠岡市出身)、東京で初採用されるBMXフリースタイル・パーク女子の大池水杜選手(ビザビ)が国内第一人者。競泳は男子400メートル個人メドレーの井狩裕貴選手(イトマン近大、岡山市出身)が昨夏のユニバーシアードで派遣標準記録を突破して金メダルを獲得し、代表候補に急



宮下遥選手



安部孝駿選手



原田のどか選手

### 夢舞台つかめ



前田穂南選手

浮上した。アーチェリーは男子の中西絢哉選手(近大、理大付高出)が3月の代表2次選考会に臨む。

◇

団体競技に目を転じてみよう。岡山勢はバレーボール、ハンドボール、ソフトボールの女子に有力候補がいる。これから本格化する代表選考で勝ち抜くのは誰か。

リオデジャネイロ大会に続く出場を目指すのが、バレーボール女子で25歳のセッター宮下遥選手(岡山シーガルズ)。リオでは4強を逃し、不完全燃焼のまま帰国した。「誰が見ても『代表』と思われるくらいの力を蓄える」と貪欲だ。



岡田直也選手



角南唯選手



原田喜市選手



渋野日向子選手

35歳のセンター荒木絵里香選手(トヨタ車体、倉敷市出身)は4大会連続の五輪を目指し、久光製薬のエース石井優希選手(就実高出)もいまや代表に欠かせない存在だ。

ハンドボール女子は今春に20人程度に絞られる。岡山勢では1976年モントリオール大会以来44年ぶりの五輪代表に近いのは、昨年12月の世界選手権で主力を張った倉敷市出身の角南唯選手(北国銀行)果帆選手(ソニーセミコンダクタ)の姉妹。GK板野陽選手(イズミメイプルレッズ、総社南高出)らもメンバー入りを狙う。

金メダル獲得を掲げるソフトボール女子では強肩好打の外野手、原田のどか選手(太陽誘電、岡山南高出)と勝負強い打撃が魅力の洲鎌夏子選手(豊田自動織機、環太平洋大出)が20人の最終代表候補に残っている。

「体操ニッポン」の団体男子では神本雄也選手(コナミスポーツ、関西高出)に期待が懸かる。昨秋の世界選手権で主将を務め、3位に貢献した。ホッケー女子の石橋唯今選手(ぎふ朝日レディース、瀬戸中出)やサッカー女子の池尻菜由選手(水原WFC、吉備国大出)らが代表入りを目指している。

(本文、写真は山陽新聞社提供)

## 岡山ロケの映画次々

## 「先生!〜」「ハルカの陶」「燃えよ剣」…



「先生!…、好きになってもいいですか?」特別上映会で  
広瀬すずさん(左)ら=2017年10月14日、学芸館高校

石畳の振動を感じながら、自転車のペダルを懸命に踏む。朝の通勤時間、路面電車と抜きつ抜かれつ。旭川を渡る京橋の上

でふとよみがえるのが、女子高生演じる広瀬すずさんがこの橋を友達と歩き、自転車で先生を追うシーン。見慣れた風景が少し輝きを増してくるから不思議だ。岡山市内の高校や京橋かいわいで撮影された映画「先生!…、好きになってもいいですか?」は2017年に公開されてヒットした。

近年、岡山県内でロケが行われ、全国ロードショーされる映画が相次いでいる。「先生!…」に続いて、和気町在住の夫妻の実話を映画化し、観客220万人を動員して話題を呼んだ「8年越しの花嫁」(17年12月公開)、福山雅治さんが主演したハリウッド映画「マンハント」(18年2月)、岡山市出身の桜井日奈子さん主演の「ういらぶ。」(同年11月)。備前市と地元作家らの協力で製作された「ハルカの陶(すえ)」(19年10月)は、ブレイク中の女優・奈緒さ



近年、岡山県内でロケが行われた主な映画のちらし

んが備前焼作家を目指す主人公を好演した。20年も1月、備前市・日生大橋でカーチェイスの撮影などを行った「AI崩壊」、5月には岡田准一さんが新選組の土方歳三を演じる「燃えよ剣」、さらに小栗旬さん、星野源さんが出演する「罪の声」など公開が続く予定。

「岡山の風景が映画になれば岡山の魅力をPRできる、岡山の人がもっと古里に誇りを持てる」。岡山県フィルムコミッション協議会(2006年創設)でロケの誘致・支援に当たる妹尾真由子さんには強い思いがある。16年、



岡山県フィルムコミッション協議会  
専任職員 妹尾真由子さん



「8年越しの花嫁」を撮影した浅口市・遥照山にはロケ地巡りのカップルが増えた



「マンハント」のロケハンで訪れたジョン・ウー監督(中央)ら  
=2016年8月、美咲町(町提供)



「ハルカの陶」ロケ=2018年10月、備前市

## “ロケの街・岡山”の魅力広がる

同協議会に出向してロケ誘致の仕事に出会い、18年春から専任職員に。「できません」の言葉を封じ、果敢に難題に挑んできた。警察や市町村、住民との連携で大掛かりな道路封鎖ロケも次々に実現。休日は「一人ロケハン」と称して各地に車を走らせ、ロケ地を開拓してホームページで発信する。エキストラ登録者数はこの4年でほぼ倍増の5000人超。

ロケの相談件数も19年度は過去最多となる見込みで、「とりあえず、岡山に相談してみようという制作会社からの流れが見えてきた」と手応えを語る。

岡山県も18年度から、雨で撮影スケジュールを変更しなければならなくなった場合に支援する「どーしたんだ!! 晴れの国」映画等ロケ助成金を創設。知名度アップや観光客誘致に向け、市町村の協力やロケ地マップ作りも活発化している。

岡山ロケ作の増加は、予想外の実も結んだ。「先生!…」にエキストラとして参加し、広瀬すずさんに見いだされた岡山市出身の鈴鹿央士さんが19年10月映画デビュー。「蜜蜂と遠雷」で天才ピアニスト役を快演し、報知映画賞新人賞、日本アカデミー賞新人俳優賞などに輝いた。津山市出身の歴史学者・山本博文さん原作の「決算!忠臣蔵」(11月)にも出演し、存在感を発揮。今後の活躍が期待される。



鈴鹿央士さん

19年10月には、津山市出身のオダギリジョーさんが初の長編監督作「ある船頭の話」の上映に合わせて岡山へ。高校まで過ごした津山市の吉井川のイメージが作品に生かされたことを明かした。地元の映画製作も活気づいている。19年は、岡山市出身の俳人・住宅顕信を描いた本田孝義監督(赤磐市出身)の「ずぶぬれて犬ころ」、看(み)取り士の活動を全国に広げる柴田久美子さん(岡山市)の

原案で高梁市で撮影された「みとりし」が公開された。山崎樹一郎監督(真庭市)は長編3作目となる「やまぶき」を製作。真庭を舞台に原発事故避難や外国人差別などの問題をテーマに、監督自身が「社会派に振り切った」と話す群像劇の公開が待たれるところ。

「天気の子」「アラジン」の興行収入が100億円を超え、映画の国内興行収入が過去最高の2016年(2355億円)を上回った2019年。日本の映画界は今後、ますます盛り上がりそう。映画関係者から「岡山は海、街、山がほどよい距離にあっていろいろな表情が切り取れるのがいい」「画に起こした時に非常に情緒を感じさせる街並みは魅力的」といった声が上がっている。県民参加で“ロケの街・岡山”をより大きく育てていけたら一と、夢が広がる。

(本文、写真は山陽新聞社提供)



「ずぶぬれて犬ころ」ロケ=2017年9月、岡山市



「やまぶき」ロケ=2019年4月、真庭市



## 贈呈式

**と き:**令和元年11月25日(月) 午前11時より

**ところ:**ホテルグランヴィア岡山「フェニックス」

**式次第:**

1 開 式	5 受賞者代表あいさつ
2 あいさつ	6 活動助成金贈呈
3 来賓祝辞	7 活動助成団体代表あいさつ
4 表彰盾及び副賞贈呈	8 閉 式



## 第3章 イベントの開催(主催・共催)

岡山県のスポーツ・文化の振興発展を支援するため、次の事業を実施しております。

### 1 スポーツ

#### ● マルセンスポーツ教室「ファジアーノ岡山サッカー教室」

- ・日 時: 令和元年11月23日(土) 13時10分～15時30分
- ・会 場: イコットニコット屋上フットサルコート
- ・参加者: 30名(応募33名)
- ・講 師: 脇谷 誠、山崎有斗、  
田中宏昌コーチ 等(ファジアーノ岡山)
- ・後 援: 岡山市



### 2 文化

#### ● マルセン文化教室

##### ◎「第7回井手康人日本画教室」

- ・社会人対象: 26名参加(内高校生10名 応募26名)
- ・日 時: 令和元年6月22日(土) 10時～15時
- ・作品展示: 倉敷市立美術館(第74回「春の院展」倉敷会場)  
令和元年6月29日(土)～7月7日(日)
- ・会 場: 山陽新聞社カルチャープラザ(陶芸教室)
- ・後 援: 岡山県教育委員会、  
日本美術院「地域連携教育プログラム」



##### ◎「大原美術館解説員に名画を学ぶ研修会」28名参加(応募47名)

- ・日 時: 令和元年11月2日(土) 13時～16時20分
- ・会 場: 大原美術館、新児島館(仮称)、語らい座大原本邸 他
- ・その他: 研修会終了後、各自自由鑑賞



##### ◎「第8回井手康人日本画教室」

- ・中高生対象: 30名参加(中学2校7名 高校4校16名 その他7名)
- ・日 時: 令和元年12月22日(日) 10時～15時
- ・作品展示: 天満屋岡山店葦川会館(再興第104回院展岡山会場)  
令和2年1月4日(土)～1月15日(水)  
イコットニコット地下1階天満屋ハピーズ前休憩スペース  
令和2年1月22日(水)～2月2日(日)
- ・会 場: 岡山県天神山文化プラザ
- ・共 催: 日本美術院「地域連携教育プログラム」
- ・後 援: 岡山市教育委員会



(第7回日本画教室作品展示)



(第8回日本画教室作品鑑賞風景)

## 第4章 広報啓発育成事業

競技スポーツ及び芸術性の高い音楽・演劇等の観賞の機会の提供を通じて、スポーツ・文化の振興発展に努めております。

### 1 啓発育成事業

#### ア チケットプレゼント

##### ①スポーツ関係

- ◎ 山陽新聞レディースカップ(寄附)
  - ・期 日：令和元年9月20日(金)～22日(日) ・会 場：玉野市 東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ
  - ・招待者：200組(400名) (応募者数 556名)
- ◎ Vリーグ観戦チケット(岡山シーガルズホームゲーム)
  - ・期 日：令和元年12月21日(土) VS 日立リヴェール
  - ・期 日：令和元年12月22日(日) VS デンソーエアリービーズ ・会 場：ジップアリーナ岡山
  - ・招待者：各50名 (応募者数192名)

##### ②文化関係

- ◎ 第74回春の院展倉敷展
  - ・期 日：令和元年6月29日(土)～7月7日(日) ・会 場：倉敷市立美術館
  - ・招待者：50名(日本画教室参加者20名) (応募者数85名)
- ◎ 舞台「ペコロスの母に会いに行く」(寄附)
  - ・期 日：令和元年10月2日(水) ・会 場：岡山市民会館
  - ・招待者：15名 (応募者数151名)
- ◎ 岡山フィルハーモニック管弦楽団第62回定期演奏会  
「ジャン・チャクムル! 岡フィルと共演」
  - ・期 日：令和元年10月20日(日) ・会 場：岡山シンフォニーホール
  - ・招待者：30名 (応募者数134名)
- ◎ 東儀秀樹×古澤巖×cobaコンサートツアー 2019
  - ・期 日：令和元年12月9日(月) ・会 場：岡山市民会館
  - ・招待者：15名 (応募者数240名)
- ◎ 再興第104回院展岡山展
  - ・期 日：令和2年1月2日(木)～15日(水) ・会 場：天満屋岡山店葦川会館
  - ・招待者：140名 (応募者数334名)
- ◎ 第33回倉敷音楽祭(新型コロナウイルス感染拡大のため中止)  
「倉敷のヴィルトゥオーゾVol5」～バンドネオンの魅力～
  - ・期 日：令和2年3月15日(日) ・会 場：倉敷市芸文館ホール
  - ・招待者：一名 (応募者数70名)
- 「AUN」クラシック・オーケストラCONCERT2020～THIS IS AUN JI～
  - ・期 日：令和2年3月17日(火) ・会 場：倉敷市芸文館ホール
  - ・招待者：一名 (応募者数74名)
- ◎ 岡山フィルハーモニック管弦楽団第63回定期演奏会(新型コロナウイルス感染拡大のため中止)  
日本の音楽界の将来を担う若手音楽家が岡山に集結! ～奇跡の瞬間を見逃すな!～
  - ・期 日：令和2年3月22日(日) ・会 場：岡山シンフォニーホール
  - ・招待者：一名 (応募者数80名)

## 第4章 広報啓発育成事業

### イ ホームページ・Facebookを通じての広報

### ウ 広報誌「マルセン」16号の発刊

### エ 活動助成団体によるラジオ番組出演(活動状況報告)

- ◎ RSKラジオ「おかやま元気応援団! 2019」  
「表町LIVE あもーれ!マッターリノ」の中、14時～16時30分の中で10分程度放送  
パーソナリティ メイン：奥富亮子 サブ：国司憲一郎
  - ・期 間：令和元年12月10日(火)～令和2年1月16日(木)
  - ・出演団体：スポーツ関係 8団体 文化関係 11団体

### 2 協賛・後援事業

#### ア スポーツ関係

- ◎ 第38回山陽女子ロードレース大会
  - ・主 催：(株)山陽新聞社 他 主管 岡山陸上競技協会
  - ・期 日：令和元年12月15日(日)
  - ・会 場：岡山市内(岡山県陸上競技場出発着)
  - ・協賛額：1,100千円



(写真提供：山陽新聞社)

#### イ 文化関係

- ◎ 倉敷!「高校生コミック・イラストコンクール2019」
  - ・主 催：倉敷芸術科学大学
  - ・期 日：令和元年6月1日(土)～令和2年3月31日(火)
  - ・会 場：倉敷芸術科学大学及び関係施設 ・協賛額：100千円
- ◎ 「高橋秀・藤田桜-素敵なふたり」展
  - ・主 催：倉敷市立美術館
  - ・期 日：令和元年9月14日(土)～10月22日(火)
  - ・会 場：倉敷市立美術館 ・協賛額：100千円
- ◎ 表町・街なか美術館 きらぼしアート展
  - ・主 催：(一社)岡山障害者文化芸術協会
  - ・期 日：令和元年9月27日(金)～10月3日(木)
  - ・会 場：岡山市 表町商店街一帯 ・協賛額：100千円

#### 【名義後援】

- ◎ 第4回おかやまスポーツフェスティバル(新型コロナウイルスの感染拡大のため開催中止)
  - ・主 催：公益財団法人岡山県スポーツ協会
  - ・期 日：令和2年3月8日(日) ・会 場：岡山県総合グラウンド、児島マリナプール

## (II)財団の活動

### 法人管理

#### ① 会議等

##### ● 評議員会

- (1)臨時第1回評議員会 令和元年6月11日(火)
  - ①令和元年度収支補正予算の件
  - ②第16回マルセンスポーツ・文化賞候補及び協賛事業・名義後援の件
  - ③書面により定時評議員会の開催の件 等
- (2)定時評議員会(書面) 令和元年6月26日
  - ①平成30年度事業報告及び収支決算の件
  - ②理事候補承認の件
- (3)臨時第2回評議員会(書面) 令和元年11月22日
  - ①評議員辞任に伴う補欠候補選任の件(北尾好昭氏辞任に伴う三木栄氏選任)
- (4)臨時第3回評議員会 令和2年3月23日(月)
  - ①令和元年度収支補正予算の件
  - ②令和2年度事業計画承認の件
  - ③令和2年度収支予算承認の件 等

##### ● 理事会

- (1)臨時第1回理事会(書面) 平成31年4月22日
  - ①臨時第1回評議員会開催の件
- (2)定時第1回理事会 令和元年6月11日(火)
  - ①平成30年度事業報告及び収支決算の件
  - ②第16回マルセンスポーツ・文化賞候補及び協賛事業・名義後援の件
  - ③令和元年度収支補正予算の件
  - ④書面による定時評議員会開催の件
- (3)臨時第2回理事会(書面) 令和元年7月5日
  - ①代表理事選定の件
- (4)臨時第3回理事会(書面) 令和元年9月9日
  - ①協賛事業決定の件(表町・街なか美術館きらぼし★アート展)
- (5)臨時第4回理事会(書面) 令和元年12月26日
  - ①名義後援承認の件(第4回おかやまスポーツフェスティバル)
- (6)臨時第5回理事会(書面) 令和2年2月28日
  - ①臨時第3回評議員会開催の件
  - ②令和元年度収支予算(補正)の件
  - ③助成事業実施基準の一部を改正する件
- (7)定時第2回理事会 令和2年3月23日(月)
  - ①令和元年度収支予算(補正)承認の件
  - ②令和2年度事業計画承認の件
  - ③令和2年度収支予算承認の件
  - ④令和2年度スポーツ・文化活動助成事業決定の件
  - ⑤令和2年度協賛・後援事業決定の件
  - ⑥顧問の選任の件 等

##### ● 監査 令和元年5月24日(金)

##### ● 選考委員会

- (1)第1回委員会 令和元年5月29日(水)
  - ①第16回マルセン賞選考の件
  - ②協賛事業(倉魂!高校生コミックイラストコンクール)選考の件
- (2)第2回委員会(書面) 令和元年8月23日
  - ①協賛事業(表町・街なか美術館きらぼし★アート展)選考の件
- (3)第3回委員会(書面) 令和元年12月11日
  - ①名義後援(岡山スポーツ協会主催「おかやまスポーツフェスティバル」)選考の件
- (4)第4回委員会 令和2年2月12日(水)
  - ①令和2年度活動助成事業及び協賛事業選考の件
  - ②助成事業実施基準の一部を改正する件

# お知らせ

## マルセンスポーツ・文化活動助成事業について

当財団では、スポーツ活動及び文化活動にかかる助成事業を毎年実施しております。  
 詳細(募集要項)については、「財団ホームページ」及び11月初旬、生涯学習施設に配布する「募集のお知らせ」にてご確認ください。

### 記

- 1 「助成事業申請書」の入手／財団ホームページから関係申請書をダウンロードしてください。
- 2 募集期間／毎年11月15日から翌年1月20日(期日が土日曜日の場合は、翌月曜日)
- 3 助成額  
 10万2千円(限度額)  
 ただし、文化財(国・県・市町村指定に限る)の補修等に係る活動については、上限を50万円とする。
- 4 助成金交付決定の時期／3月下旬
- 5 審査基準
  - ・活動の目的及び内容が当財団の助成目的に沿ったものであること。
  - ・活動内容が具体的であるもの。
  - ・活動の参加に制限がなく、誰でも参加できるものであること。
  - ・概ね1年以上の活動実績があること。
  - ・助成金の使途が適切であり、助成の緊要度が認められること。
  - ・岡山県内で行われる活動であり、岡山県内に所在する団体・居住する個人が実施すること。
- 6 留意事項
  - ・助成金は、自己又は構成員へ支出する報酬・旅費等及び組織の維持費には充当できません。
  - ・反社会的勢力と関係のある団体に該当する場合は、対象となりません。
  - ・営利を目的とする活動は、対象となりません。
  - ・その他、助成規程・助成事業実施基準をご確認ください。
- 7 申請書への添付書類(全て写しで可)
  - ・組織の設置規程(規約等)
  - ・昨年度の決算書、パンフレット、当該年度の事業計画(申請書に記載)
  - ・助成審査前確認シート(様式2号)
- 8 その他
  - ・申請書記載内容については、記載例を参照のうえ、作成してください。事業計画欄に団体設置の目的、事業の目標、苦慮している点、成果目標等を600字内で簡潔に記載してください。
  - ・別紙での提出は、「参考資料のみ」としてください。

## 記載例

様式1号

令和	年度	スポーツ・文化活動		助成事業申請書		受付日	
公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団 殿				いずれかを、○で囲む。 Excel版は選択となっている。		受付番号	
貴財団の助成を受けるため下記の通り申請いたします。なお、この書類に記載の氏名・住所等の個 提供に加え財団役員会又は関係行政機関に開示することに同意します。また、助成決定の際は、受給 誌等にて公表される場合があることに同意すると共に、助成金の交付条件である①助成事業に採用さ かに活動報告書を提出することのいずれかでも怠った場合、助成金交付の取消・返金を求められるこ				郵便物の送付先 団体宛の住所の場合、その住所先団体 名も記載してください 個人宅の宛名の場合、そのお名前も記 載してください			
団体名	(フリガナ) マルマルチョウシヨウフネンヤキユウクラブ 〇〇町少年野球クラブ	構成人数	所在地 (市区町村のみ)	代表者名又 は職人名	(フリガナ) オカヤマ タロウ 監督 岡山 太郎	申請について質問させてい ただける方	
住所 (連絡先)	〒 700-0023 岡山市北区駅前町〇-〇-〇	担当者	同上	担当	*該当する場合は○をつけてください。 クラシキ ハナコ	平日昼間連絡できる電話番 号・もしくはメール・ファクス 宛名称も記載してください。	
氏名もしくは、団体名	(〇〇様方)	Tel	086 〇〇 〇〇 × ×	メールアドレス	marusen@yahoo.co.jp	※該当のものをご記入くださ	
大分類	1 競技スポーツ	Fax	なし	携帯	090 - 〇〇〇〇 - 〇〇 × ×		
申請区分	小分類(軟式野球)	実施時期	年度内の実施時期を記載し てください。	実施場所			
活動名	第20回 〇〇町学童親善野球大会	助成を受ける対象の活動名 事業内容や特徴が一目でわかる名称が望ましい。					
別紙	スポーツ・文化活動一覧から選んでください ※大分類は太字部分を記入						
助成を受けて の 事業計画 (600字以内)	(事業計画欄 記入上の留意点) 助成を受けて、どのような活動を実施するのかを600 字以内にまとめて、会の設立目的、苦慮している点、達 成目標等を記載してください。当日の次第等は簡潔に。 過去に助成を受けた団体等は、新たに工夫したことや 前回より特に意欲的な点などを記入してください。 ※「別添のとおり」は不可						
助成を受けた際の財団名公表の方法	チラシ・ポスター・ホームページでの公表 大会当日のアナウンス。要項への記載等						
過去実績	※ 貴団体の設立時期、構成人数、活動内容等(1年以上の活動実績がなければ申請できません) (財団HP「助成事業実施基準」1参照)						
予定 事業 収 支 計 画	収入の部	項目	金額(円)	項目	助成金 金額(円)	内容	
		助成希望金額 (限度額10万2千円)	90,000	会場費	※ 60,000	〇〇グラウンド 8時~17時	
		参加料 (@5千円×17チーム)	85,000	ボール代	21,600	@5400円×4ケース	
		主催者負担額		審判謝金	45,000	@2500円 18試合	
		クラブ予算	30,000	トロフィー代	※ 10,000	優勝チーム・準優勝チーム	
		〇〇会助成金	20,000	優勝記念品	5,400	優勝チーム	
				弁当代	7,150	@550円×13個(審判他)	
				参加賞	※ 60,000	@200円×300個	
				消耗品	4,500	ライン用石灰他	
				大会冊子作成	8,070	コピー用紙・プリンターインク代等	
			郵送料	3,280	案内郵送料 40件×82円		
	収入合計	225,000	支出合計	225,000	収支金額は同額となり、※額計は 財団助成額以上となること。		
備考	※年間個人負担額 5,000 円		(※ 130,000) 財団助成金充当額合計				
他の助成等を受けていますか?	はい	いいえ	〇〇会	千円	「はい」の場合は、その助成 申請先等の名称		
他の助成等の申請予定はありますか?	はい	いいえ		千円			
過去に当財団の助成を受けましたか?	はい	いいえ	平・令	年度	新	千円 「いいえ」の場合で、過去に申 請したが、不採用の年度(新規 の場合は「新」と記載)	

- ・当財団の助成金を充当する項目に ※ を記入してください。
- ・備品等を財団の助成金で購入希望の場合、購入予定価格のわかる書類を添付してください。(見積もり・カタログ等のコピー等。個別に記載すること。)
- ・申請の内容が通年(1年間)に係る事業の場合は、年間予算額を、特定の期間の事業の場合にはその事業に係る予算額を記入してください。
- ・収支計画の基となった、昨年収支実績もしくは事業収支を添付してください。
- ・申請に当たっては「別紙のとおり」等と省略せず、簡潔にまとめて記載してください。

事業の記録

1 助成の記録

●第15回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
30.10.23	スポーツ	204.3	15件	10件	953,000円	合計 21件 2,043,000円 累計 294件 37,407,969円
	文化		28件	11件	1,090,000円	

●第14回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
29.8.28	スポーツ	200	22件	9件	900,000円	合計 20件 2,000,000円 累計 293件 35,364,969円
	文化		37件	11件	1,100,000円	

●第13回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
28.11.4	スポーツ	208.9	20件	9件	851,000円	合計 22件 2,089,006円 累計 295件 33,364,969円
	文化		52件	13件	1,238,006円	

●第12回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
27.8.26	スポーツ	206.8	15件	7件	688,020円	合計 21件 2,067,650円 累計 273件 31,275,963円
	文化		66件	15件	1,379,630円 (うち1件辞退)	

\*文化のうち1件中止

●第11回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
26.8.7	スポーツ	120万円	21件	12件	1,119,000円	合計 26件 2,497,000円 累計 252件 29,208,313円
	文化	130万円	57件	14件	1,378,000円	

●第10回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
25.10.24	スポーツ	100万円	18件	13件	1,300,000円	合計 30件 3,000,000円 累計 226件 26,711,313円
	文化	100万円	57件	17件	1,700,000円	

●第9回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
24.8.27	スポーツ	100万円	24件	10件	970,000円	美作国建国1300年記念事業実行委員会 30万円 合計 25件 2,670,000円 累計 196件 23,711,313円
	文化	100万円	56件	14件	1,400,000円	

●第8回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
23.7.12	スポーツ	100万円	25件	10件	986,000円	合計 21件 2,011,628円 累計 171件 21,041,313円
	文化	100万円	46件	11件	1,025,628円	

●第7回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
22.7.5	スポーツ	100万円	11件	8件	717,020円	第25回国民文化祭おかやま2010 100万円 合計 22件 2,977,020円 累計 150件 19,029,685円
	文化	100万円	43件	13件	1,260,000円	

●第6回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
21.7.27	スポーツ	100万円	19件	10件	959,115円	第25回国民文化祭おかやま2010 100万円 合計 25件 3,258,115円 累計 128件 16,052,665円
	文化	100万円	42件	14件	1,299,000円	

●第5回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
20.7.29	スポーツ	100万円	34件	10件	996,410円	県立総社南高等学校ダンス部保護者会 100万円 合計 21件 2,996,410円 累計 103件 12,794,550円
	文化	100万円	45件	10件	1,000,000円	

●第4回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
19.7.24	スポーツ	100万円	31件	10件	964,500円	合計 21件 1,994,500円 累計 82件 9,798,140円
	文化	100万円	53件	11件	1,030,000円	

●第3回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
18.7.21	スポーツ	100万円	36件	10件	970,000円	合計 20件 1,962,000円 累計 61件 7,803,640円
	文化	100万円	27件	10件	992,000円	

●第2回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
17.8.3	スポーツ	100万円	34件	10件	988,640円	晴れの国おかやま国体 100万円 合計 21件 2,988,640円 累計 41件 5,841,640円
	文化	100万円	24件	10件	1,000,000円	

●第1回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
16.12.14	スポーツ	100万円	31件	10件	1,000,000円	晴れの国おかやま国体 100万円 合計 20件 2,853,000円
	文化	100万円	15件	9件	853,000円	

2 表彰の記録

●第15回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
30.10.23	スポーツ	栄誉大賞	新田 佳浩	スキー クロスカントリー
		賞	創志学園高等学校女子ソフトボール部 福岡 珠緒 森川 朋哉	球技 ソフトボール アニマル 馬術 パワー 重量挙げ
	文化	大賞	金重 有邦 菅井 竜也	美術 陶芸(備前焼) 伝統文化 将棋
		賞	内山 詠美子 高月 國光 竹田喜之助顕彰会	音楽 打楽器(マリンバ) 美術 工芸(木工芸) 総合芸能 人形劇

●第14回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
29.8.28	スポーツ	特別賞	佐藤 友祈	陸上競技 競走(車いす)
		賞	岡田 直也 倉敷高等学校陸上競技部 第71回国民体育大会弓道競技成年男子岡山県選抜 森定 照広	射的 ライフル射撃 陸上競技 駅伝 射的 弓道 陸上競技 指導者
	文化	大賞	難波 滋 森 陶岳	美術 洋画 美術 陶芸(備前焼)
		賞	吉備神楽社 木村 善明	無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 声楽(バス・バリトン)

# 事業の記録

●第13回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別	
28.11.4	スポーツ	賞	梅木 真美	格闘技 柔道	
			関西高等学校体操競技部	体操 体操競技	
			齋藤 愛美	陸上競技 競走	
	文化	大賞	高木 聖雨	車いす陸上競技 競走(T52クラス)	
			特別賞	島村 光	美術 書道
			森山 知己	美術 陶芸(備前焼)	
文化	賞	小倉 綾乃	美術 日本画		
		玉置 里美	音楽 リード楽器(ハーモニカ)		
		寺坂 昌三	美術 日本画		

●第12回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
27.8.26	スポーツ	賞	荒島 夕理	陸上競技
			井上 全悠	卓球競技
			原田 裕成	自転車競技
	文化	大賞	日本 雄也	水泳競技
			丸本 大翔	ウエイトリフティング競技
			隠崎 隆一	美術 陶芸(備前焼)
文化	賞	栗利郷太刀踊保存会	無形民俗文化財 伝統芸能	
		小野 耕石	美術 版画	
		河本 昭政	美術 洋画	
		藤本 理恵子	美術 日本画	
		森上 光月	美術 書道	
		守屋 剛志	音楽 ヴァイオリン	

●第11回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
26.8.7	スポーツ	賞	小川 晃平	体操競技 新体操
			IPU環太平洋大学女子柔道部	柔道競技
			吉備国際大学女子サッカー部	サッカー競技
	文化	特別賞	佐々木 美行	スケート競技フィギュアの指導
			野上 竜太	自転車競技
			佐々木 英代	音楽 声楽
文化	賞	小出 公大	郷土史	
		須本 雅子	美術 染織	
		藤原 洋次郎	美術 現代アート	
		横仙歌舞伎保存会	無形民俗文化財 伝統芸能	

●第10回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
25.10.24	スポーツ	大賞	荒木 絵里香	バレーボール競技
			福元 美穂	サッカー競技
			宮間 あや	サッカー競技
	文化	大賞	清水 聡	ボクシング競技
			山口 舞	バレーボール競技
			特別賞	水戸岡 鋭治
文化	賞	佐藤 常子	美術 染織	
		上田 久利	美術 彫刻	
		岡山パッハカンタータ協会	音楽 合唱	
		草間 喆雄	美術テキスタイル	
		鴻八幡宮祭りばやし保存会	無形民俗文化財 伝統芸能	
		難波 由城雄	美術 写真	

●第9回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
24.8.27	スポーツ	特別賞	福元 美穂	サッカー競技
			宮間 あや	サッカー競技
			興村 諭志	自転車競技
	文化	賞	勝又 雅弘	陸上競技の振興
			田中 太郎	ウエイトリフティング競技
			特別賞	小谷 眞三
文化	賞	森川 星葉	美術 書道	
		池上 わかな	美術 洋画	
		作元 朋子	美術 陶芸	
		榎木 和敬	音楽 声楽	
		桃太郎少年合唱団	音楽 合唱	

●第8回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
23.7.21	スポーツ	大賞	該当者なし	テニス競技
			小野 陽平	自転車競技の指導
			川口 敬二	陸上競技
	文化	賞	興譲館高等学校陸上競技部	空手道競技
			永木 伸児	サッカー競技
			中野 真奈美	ボクシング競技
文化	大賞	藤田 健児	文芸 小説	
		重松 清	美術 書道	
		澤田 虚遊	無形民俗文化財 伝統芸能	
文化	特別賞	宮内踊保存会	陸上競技	
		天満屋女子陸上競技部		

●第7回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別	
22.7.5	スポーツ	栄誉大賞	高橋 大輔	スケート競技 フィギュア	
			大賞	新田 佳浩	スキー競技 クロスカントリー
			井上 正	新体操競技の指導	
	文化	賞	県立玉野光南高等学校陸上競技部	陸上競技	
			皇后杯第28回全国都道府県対抗女子駅伝	陸上競技	
			岡山県チーム		
文化	大賞	井手 康人	美術 日本画		
		賞	高田神社横野獅子舞保存会	無形民俗文化財 伝統芸能	
		諸星 美喜	美術 日本画		

●第6回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
21.7.27	スポーツ	大賞	該当者なし	ゴルフ競技
			岡山県作陽高等学校ゴルフ部	車いすテニス競技
			木村 禎宏	体操競技
	文化	賞	山陽女子高等学校 体操部	ソフトボール競技
			平林金属男子ソフトボールクラブ	美術 洋画 版画
			大賞	高原 洋一
文化	賞	大島の傘踊り保存会	美術 彫刻	
		片山 康之		

●第5回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
20.7.29	スポーツ	大賞	天満屋女子陸上競技部	陸上競技
			県立新見高等学校ソフトボール部	ソフトボール競技
			県立新見高等学校軟式野球部	軟式野球競技
	文化	賞	福元 美穂	サッカー競技 GK
			宮間 あや	サッカー競技 MF
			特別賞	該当者なし
文化	賞	井手 康人	美術 日本画	
		小川 尊一	美術 洋画	
		神代郷土民謡保存会	無形民俗文化財 伝統芸能	
		津山市立北陵中学校吹奏楽部	音楽 吹奏楽	
		明誠学院高等学校書道部	美術 書道	

# 事業の記録

## ●第4回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
19.7.24	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	麻生 薫 岡山県作陽高等学校サッカー部	ハンドボール競技の指導 サッカー競技
			岡山湯郷Belle 長田 京大 牧野 吉伸	サッカー競技 新体操競技の指導 ウエイトリフティング競技の指導
	文化	大賞	山口 松太	工芸 漆芸
		賞	多胡 昭彦 田丸 稔 宮尾 昌宏	天文学 美術 彫刻 工芸 陶芸

## ●第3回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
18.7.21	スポーツ	大賞	高橋 大輔	スケート競技フィギュア
		賞	楳村 正明 古川 興幸 森政 芳寿	ソフトテニス競技の指導 レスリング競技の指導 陸上競技の指導
			特別賞	岡山県剣道連盟 岡山県山岳連盟 岡山シーガルズ 関西高等学校ボート部
	文化	大賞	あさの あつこ	文芸 児童文学
		賞	川島 基 難波 滋 福大神楽団	音楽 ピアノ 美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能

## ●第2回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
17.8.3	スポーツ	大賞	水鳥 寿思	体操競技
		賞	石本 直樹 諸見里 しのぶ 横山 純子	ベンチプレス競技 ゴルフ競技 陸上競技の指導
			文化	大賞
	賞	石田 宗之 はやし田植え保存会 濱坂 渉		美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能 美術 彫刻

## ●第1回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
16.12.14	スポーツ	大賞	武富 豊	陸上競技の指導
		賞	土井 美智江 藤原 佳市 柳井 清志	水泳競技(マスターズ) 体操競技の指導 ソフトボール競技の指導
			文化	大賞
	賞	栗井春日歌舞伎保存会 岡山フィルハーモニック管弦楽団 松本 和将		無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 管弦楽 音楽 ピアノ

## 3 イベントの記録(協賛を含む)

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
30	スポーツ	マルセンスポーツ教室「岡山西ベッツの卓球教室」 後援 岡山市 講師 上田仁・三部航平・有田洋巳選手、白神宏佑監督 (岡山西ベッツ卓球スポット岡山店)	31.1.27	150	70 (午前・午後各35)	312千円
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズGC) Vリーグ観戦チケット(岡山シーガルズホームゲーム) ・VS KOROBE アクアフェアリーズ ・VS トヨタ車体クインシーズ (ジップアリーナ岡山)	30.9.14~30.9.16	293	200組400名	現物寄贈
		Tリーグ観戦チケット(岡山チベッツホームゲーム) ・VS KM 東京 ・VS TT 彩たま (岡山武道館)	31.1.26 31.1.27	224	各30	135千円
		協賛・後援 第37回山陽女子ロードレース大会 (山陽新聞社他 岡山市内)	30.12.23	—	—	1,080千円
		第3回おかやまスポーツフェスティバル(名義後援) (岡山県総合グラウンド、児島マリンプール)	31.3.3	—	—	—
		岡山県文化連盟「おかやま文化芸術アソシエイツ」(共催) ～おかやま子どもみらい塾 (大原美術館・倉敷市立黒崎中学校)	31.1.10 31.1.15	—	25	—
	文化	マルセン文化教室「井手康人の日本画教室」 ・社会人対象(作品展示 倉敷市立美術館「春の院展会場」) ・中高生対象(作品展示 天満屋岡山店葦川会館「院展会場」) 後援 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会 日本美術院「地域連携教育プログラム」 講師 井手康人(同人) 藤田和美(院友) beyond2020 認証事業 (岡山市北ふれあいセンター、山陽新聞社)	30.6.23 30.12.22	—	(社会人)18 (中高生)36	267千円
		チケットプレゼント 第73回春の院展会場(倉敷市立美術館)	30.6.27~30.7.8	122	50	30千円
		ポーラ美術館コレクション「モネ、ルノワールからピカソまで」 (岡山県立美術館)	30.7.6~30.8.26	483	270	50千円
		松本和将の世界音楽遺産ドイツ・ロマン編～くららをめぐって～ (ルネスホール)	30.11.4	131	30	90千円
		ベートーベン「第九」演奏会(創立15周年記念事業) (岡山シンフォニーホール)	30.12.9	198	30	108千円
		再興第103回院展岡山展(天満屋岡山店葦川会館) 秀桜基金留學賞の10年(岡山県立美術館) 倉敷音楽祭「人形浄瑠璃」～文案～(倉敷市芸文館) 同「倉敷のヴァルトゥオーヴ Vol.4 3大ピアノトリオを聞く」 (倉敷市芸文館)	31.1.2~31.1.14 31.1.18~31.2.24 31.3.8	569 70 124	250 50 30	90千円 25千円 81千円
協賛・後援 おかやま子どもみらい塾(協賛) (大原美術館・倉敷市立黒崎中学校)	31.1.10 31.1.15	—	—	100千円		
倉敷「高校生コミック・イラストコンクール2018」(名義後援) (倉敷芸術科学大学及び関係施設)	30.6.1~31.3.31	—	—	—		
共通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2018」(構成通提供) 助成団体活動状況報告 20団体	30.11.19~30.12.12	—	—	—	
29	スポーツ	マルセンスポーツ教室「岡山西ベッツのバレーボール教室」 後援 岡山市 講師 川畑愛希選手 檜崎慈恵選手 神田千絵コーチ (万成病院体育館(Mホール))	29.8.6	30	26	107千円
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズGC)	29.9.15~29.9.17	315	200組400名	現物寄贈
		協賛 第27回全日本古希軟式野球大会岡山大会 (岡山県選抜軟式野球連盟 倉敷市運動公園他7会場)	29.10.28~29.10.31	—	—	100千円
		第36回山陽女子ロードレース大会 (山陽新聞社他 岡山市内)	29.12.23	—	—	1,080千円
		岡山県文化連盟「おかやま文化芸術アソシエイツ」(共催) (旧文化のつどい) 文化芸術交流実験室(奈養町伝統文化等研修施設)	30.1.8	—	35	100千円
		マルセン文化教室「井手康人の日本画教室」 ・社会人対象(作品展示 倉敷市立美術館「春の院展会場」) ・中高生対象(作品展示 天満屋岡山店葦川会館「院展会場」) 後援 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会 日本美術院「地域連携教育プログラム」 講師 井手康人(同人) 藤田和美(院友) beyond2020 認証事業 (岡山県生涯学習センター美術教室)	29.6.11 29.12.24	—	(社会人)23 (中高生)27	199千円
	文化	マルセン文化教室「白井洋輔氏とともに閑谷学校と津田永忠の事跡を巡る研修会」 講師 白井洋輔(備前ミュージアム館長) (和意谷池田家墓所 鏡の州 閑谷学校 田原井堰 石の懸樋 等)	29.10.28	38	30	172千円
		チケットプレゼント 第72回春の院展会場(倉敷市立美術館)	29.6.28~29.7.9	30	30	18千円
		川島基ピアノリサイタル(岡山県立美術館ホール)	29.9.9	10	10	30千円
		再興第102回院展岡山展(天満屋岡山店葦川会館)	30.1.2~30.1.14	222	150	90千円
		備中温羅太鼓(総社市民会館)	30.2.8	59	10	25千円
		第32回倉敷音楽祭「倉敷のヴァルトゥオーヴ Vol.3」 ～倉敷ゆかりの若手プレーヤーによる室内楽コンサート～ (倉敷芸文館)	30.3.18	120	30	54千円

# 事業の記録

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
29	文化	協賛 日本工芸会中国支部創立 60 周年記念図録 (日本工芸会中国支部 天満屋岡山店 県立美術館)	29.5.24 ~ 29.6.25	—	—	300 千円
		備前細工物「きのう・きょう・あした」 (備前細工物展実行委員会 備前ミュージアム)	29.6.29 ~ 29.9.3	—	—	300 千円
		岡山女声合唱団「華」 日本のうた・こころのうた 20 年のあゆみ記念コンサート (岡山女声合唱団「華」 岡山シンフォニーホール)	29.10.1	—	—	150 千円
		岡山市民ミュージカル「オランダお伊ねあじさい物語」 (山陽放送岡山シンフォニーホール)	29.11.19	—	—	100 千円
		第 9 回全国高校生現代アートビエンナーレ〜絵画・イラスト〜 (倉敷芸術科学大学 倉敷市立美術館)	29.12.16 ~ 29.12.24	—	—	100 千円
共通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2017」(㈱成通提供) 助成団体活動状況報告 20 団体	29.10.16 ~ 29.11.8	—	—	—	
スポーツ	スポーツ	マルセンソフトテニス教室 主管 岡山県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部 後援 岡山県ソフトテニス連盟 講師 大庭彩加(山陽新聞倉敷支社) 杉本 瞳(職員) 深澤昭恵・森原可奈(東芝姫路所属) (岡山県総合グラウンド内 南テニスコート) チケットプレゼント	28.6.18 28.6.26	—	18 日 4 校 33 名 26 日 5 校 35 名	265 千円
		山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズ GC)	28.9.16 ~ 18	410	200 組 400 名	現物寄贈
		協賛 第 2 回岡山県武道フェスタ (岡山県武道団体連合会 岡山武道館他)	28.12.4	—	—	200 千円
		第 35 回山陽女子ロードレース大会 (岡山県体育協会 山陽新聞社他 岡山市内)	28.12.23	—	—	1,080 千円
		日中友好卓球交流会 (瀬戸内日中友好卓球交流会 わや卓球道場・坂出体育館)	29.3.26 ~ 29.4.1	—	—	100 千円
28	文化	岡山県文化連盟・文化講演会(共催) 「文化のつどい」 「青木研岡でスウィングする」4 弦パンジョーの世界 (天神山文化プラザホール)	28.12.2	—	—	—
		マルセン文化教室「井手康人の日本画教室」 ・社会人対象(作品展示 倉敷市立美術館「春の院展会場」) ・高校生対象(作品展示 天満屋葦川開館「院展会場」) 後援 岡山県教育委員会 日本美術院「地域連携教育プログラム」 講師 井手康人(同人) 藤田和美(院友) (岡山県生涯学習センター美術教室)	28.6.3 28.12.23	—	(社会人) 24 名 (高校生) 25 名	297 千円
		チケットプレゼント 川島基ピアノリサイタル(ルネスホール)	28.5.1	79 組 157 名	20 組 40 名	120 千円
		チケットプレゼント 第 71 回春の院展倉敷展(倉敷市立美術館)	28.6.29 ~ 7.10	120 名	30 名	現物寄附
		チケットプレゼント マイ・ハート in さん太(山陽新聞社さん太ホール)	28.8.24	203 名	100 名	現物寄附
		チケットプレゼント 種まく旅人〜夢のつぎ木〜(ロケ地:赤磐市他 上映:県下 6 映画館)	28.10.22 ~	381 組 761 名	100 組 200 名	200 千円
		チケットプレゼント 再興第 101 回院展岡山会場 50 回記念展(天満屋葦川会館)	29.1.2 ~ 15	334 名	100 名	60 千円
		チケットプレゼント 第 31 回倉敷音楽祭 倉敷のヴィルトゥオーソ Vol.2 室内楽コンサート (倉敷芸文館)	29.3.18	143 名	30 名	54 千円
		協賛 倉魂!「高校生コミック・イラストコンクール 2016」 (倉敷芸術科学大学 倉敷市立美術館)	28.6.1 ~ 29.3.31	—	—	100 千円
		岡山県演奏家協会生誕 50 周年を祝して 〜岡山と共に 50 年そして宙へ〜 (岡山県演奏家協会 岡山シンフォニーホール)	28.10.10	—	—	300 千円
		岡山の美術特別企画「梅一輪 島村光 金重有邦 隠崎隆一展」 (岡山県立美術館)	29.2.1 ~ 29.3.12	—	—	300 千円
		共通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2016」(㈱成通提供) 助成団体活動状況報告 21 団体	28.11.14 ~ 12.27	—	—
27	スポーツ	高体連ソフトテニス専門部強化事業に職員派遣 マルセン子どもスケート教室 共催 倉敷市スケート協会フィギュア部 後援 県教育委員会、倉敷市教育委員会、岡山県スケート連盟 ゲストスケーター無良崇人選手(日本スケート特別強化選手(洋楽子のヒロタ所属)) (ヘルスピア倉敷アイスアリーナ)	27.8.10 ~ 11	—	—	—
		プロバスケットボール試合(共催) 「高松ファイブアローズ対金沢武士団」 (ジップアリーナ岡山(岡山県立体育館))	27.8.17 ~ 18	—	17 日 49 名 18 日 39 名	—
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズ GC)	28.3.19	—	—	378 千円
		チケットプレゼント 第 34 回山陽女子ロードレース大会(協賛) (岡山市内)	27.9.19 ~ 20	40	40	—
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズ GC)	27.9.19 ~ 20	530	200 組 400 名	現物寄贈
文化	文化	第 34 回山陽女子ロードレース大会(協賛) (岡山市内)	27.12.23	—	—	1,080 千円
		岡山県文化連盟・文化講演会(文化のつどい)(名義共催) 「アート、文学、おかやまー私を育んだ岡山の文化」 講師 原田マハ(作家)	27.9.17	—	—	—
		チケットプレゼント フェルメール光の王国展(岡山市シテミュージアム)	27.4.14 ~ 5.6	307	40 組 80 名	—

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
27	文化	倉魂!高校生コミック・イラストコンクール 2015(協賛) 主催 倉敷芸術科学大学 (倉敷市倉敷公民館 1F 展示室)	募集 27.6.1 ~ 27.8.31 展示 27.12.2 ~ 6	416 点 (168 校)	入選 52 点 うち 20 点受賞 (大賞等)	100 千円
		岡山カルチャーゾーン 30 周年記念事業(協賛) 「岡山カルチャーゾーンの魅力」 (岡山県立博物館及び後楽園を中心としたカルチャーゾーン一帯)	27.7.16 ~ 9.13	—	入館者数 6,779 名	100 千円
		岡山県文化連盟設立 10 周年記念×天神山文化プラザ開館 10 周年記念(協賛) 「オペラファンタジー“ヘルゼンとグレーテル”」 (岡山県天神山文化プラザホール)	27.10.31 27.11.1	—	参加者 1 回 236 名 2 回 240 名	—
		チケットプレゼント 再興第 100 回院展岡山展(天満屋岡山店 6 階葦川会館)	28.1.2 ~ 1.17	458	100 組 200 名	現物寄贈
		チケットプレゼント 倉敷のヴィルトゥオーソ ピアノクインテット(倉敷市芸文館)	28.3.12	126	50 組 100 名	180 千円
共通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2015」(㈱成通提供) 助成団体活動状況報告 21 団体	27.9.28 ~ 12.14	—	—	—	
スポーツ	スポーツ	第 10 回岡山中央スポーツ少年団ソフトボール交歓大会(協賛) 第 30 回全国選抜フットサル大会(協賛) (きびアリーナ)	26.4.13 26.9.13 ~ 15	—	—	10 千円 100 千円
		マルセンバスケットボール教室(共催) 主管 県中学生バスケット連盟 (倉敷市立東中学校体育館)	26.9.15	—	42	240 千円
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズ GC)	26.9.20 ~ 21	278	190	現物寄贈
		プロバスケットボール試合(共催) 「高松ファイブアローズ対大阪エヴェッサ」 (備前市総合運動公園体育館)	26.11.2	—	—	378 千円
		チケットプレゼント(同)	26.11.16	11	8	現物寄贈
26	文化	第 33 回山陽女子ロードレース大会(協賛) (岡山市内)	26.11.16	—	—	1,080 千円
		第 10 回沙美アートフェスタ(協賛) (倉敷市沙美海岸 倉敷市立美術館)	26.5.10	—	—	100 千円
		チケットプレゼント 親子で学んでんまや水族館 「オーストラリアの海とグレートバリアリーフの世界」 (天満屋岡山店 6 階葦川会館)	26.8.6 ~ 25	188	50 組 100 名	—
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(共催) 講演「音楽と私」講師 川島基氏(東京音楽大学ピアノ科専任講師) 聞き手 西田多江(フリーアナウンサー) (ルネスホール)	26.8.7	—	—	150 千円
		マルセン親子写真教室(主催) 講師 難波由城雄氏(第 10 回マルセン文化賞受賞者) (龍の森グリーンシャワーの森)	26.9.27	10 組	10 組 22 名	88 千円
		池田綱政公 300 年遠隔記念事業(協賛) 特別展 護国山曹源寺〜岡山藩主池田氏菩提寺の至宝と文化〜 (岡山県立博物館)	26.10.10 ~ 11.16	—	—	300 千円
		倉魂!高校生コミック・イラストコンクール 2014(協賛) 主催 倉敷芸術科学大学 (倉敷公民館)	26.11.26 ~ 30	—	—	100 千円
		チケットプレゼント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第 46 回定期演奏会 (岡山シンフォニーホール)	27.1.24	250 通	20 組 40 名	190 千円
		倉敷ダニエル・オストの花と心 ―西洋と日本の架橋―(名義協賛) (倉敷大原家本邸/有隣荘(旧別邸) 大原美術館工芸・東洋館中庭)	27.3.1 ~ 4	—	—	名義
		チケットプレゼント 同上	27.3.20 ~ 4.19	575 通	100 名	現物寄贈
共通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2014」(㈱成通提供) 助成団体活動状況報告 22 団体	26.9.3 ~ 11.19	—	—	—	
25	スポーツ	厚生労働大臣杯争奪第 63 回全日本実業柔道団体対抗大会(協賛) (岡山県体育館 桃太郎アリーナ)	25.6.15 ~ 16	—	—	100 千円
		第 36 回岡山県道場少年剣道大会(後援) (倉敷市玉島の森体育館)	25.6.22	—	—	名義
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズ GC)	25.9.21 ~ 22	258 通	145 名	現物寄贈
		プロバスケットボール試合(共催) 「高松ファイブアローズ対島根スサノオマジック」 (備前市総合運動公園体育館)	25.10.27	43 通	20 名	350 千円
		「第 32 回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	25.12.23	—	—	1,050 千円
文化	文化	成通グループ・(公財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (マスカットスタジアム)	26.3.2	—	96 名	—
		チケットプレゼント 東北楽天ゴールデンイーグルス主催プロ野球オープン戦 (マスカットスタジアム)	26.3.4 / 3.5 / 3.7 / 3.8 / 3.9	1,203 通	50 名	現物寄贈
		「第 9 回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸)	25.5.11	—	—	100 千円
文化	文化	チケットプレゼント 大野雄二&ルパンティック・ファイブルパンティック・ジャズナイト (岡山シンフォニーホール)	25.5.17	265 通	25 組 50 名	175 千円
		The Wave Quartet マリンバ・リサイタル/マスタークラス(協賛)	25.7.17	—	—	100 千円

# 事業の記録

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額	
25	文化	(公社)岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(共催) 講演「美作国建国1300年～津山洋学・知は海より来る～」白井洋輔氏(元吉備国際大学教授) (天神山文化プラザホール) 講演「日本から始まった柔道文化」古賀稔彦氏(環太平洋大学教授(柔道家・医学博士)) (天神山文化プラザホール)	25.7.20 / 9.19	—	—	390千円	
		創立10周年記念「表彰者色紙展/自然と遊ぶ・写真展」(主催) 第1回～第9回までのスポーツ・文化大賞等の揮毫色紙及び信朝寛監事の写真展示 (天神山文化プラザ)	25.8.13～8.18	—	—	883千円	
		書籍プレゼント 「卑弥呼は近江か出雲か吉備か」 倉魂!高校生コミック・イラストコンクール2013(協賛) (天満屋倉敷店6階)	～26.2.8	179通	28名	現物寄贈	
		如月 水墨画展(後援) (さん太ギャラリー)	25.10.6～7	—	—	100千円	
		25.10.1～10	—	—	名義		
		書籍プレゼント みんなて学ぶ「ふるさと美作のあゆみ」 チケットプレゼント 「レオナルド・ブジタとパリ 1913-1931」展 (岡山県立美術館)	～26.2.8	71通	10名	15千円	
		26.2.21～4.6	336通	150組 300名	現物寄贈		
		共通	RSKラジオ「おかやま元気応援団! 2013」(株)成通提供 助成団体活動状況報告 28団体	25.10.28～12.17	—	—	—
		スポーツ	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズGC)	24.9.15～16	153通	120枚	200千円
			第2回航空エア2012(協賛) フライトシミュレーターによる少年航空教室 (岡山県岡南飛行場)	24.11.11	106	106名	420千円
成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (マスカットスタジアム)	24.11.11		29チーム	200名	—		
「第31回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	24.12.23		—	—	1,050千円		
チケットプレゼント 女子バレーボール V・プレミアリーグ戦 (笠岡体育館・桃太郎アリーナ)	25.2.9・10 3.2・3		532	80名	280千円		
第61回備前市えびす駅伝競走大会(協賛)	25.2.11		—	—	50千円		
成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (マスカットスタジアム)	25.3.3		4チーム	95名	—		
文化	「第8回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)		25.5.12	50点	50	100千円	
	チケットプレゼント マルク・ジャガール展 -愛をめぐる追想- (岡山県立美術館)		24.7.13～8.26	479通	204名	現物寄附	
	チケットプレゼント 前橋汀子ヴァイオリンリサイタル (岡山シンフォニーホール)		24.10.5	275通	50名	175千円	
	倉魂!高校生コミック・イラストコンクール2012(協賛) (加計美術館)	24.10.6～28	300点	100点	100千円		
	岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「福祉と文化」講師 江草安彦氏(旭川市)演奏/桃太郎少年合唱団 (リネスホール)	24.10.6 24.11.17	—	—	300千円		
	「本物の心に残る音楽を」講師 守屋剛志(ヴァイオリニスト)演奏/ピアノ 中山恵氏 (天神山文化プラザ)	24.10.7～8	—	—	40千円		
	マーチング・イン・オカヤマ(協賛) (岡山駅前・さん太広場・表町商店街・石山公園・岡山市総合文化体育館)	25.3.9	174通	20名	80千円		
	チケットプレゼント 人形浄瑠璃「文楽」(倉敷芸文館)	25.3.22	—	—	現物寄附		
	美作国建国1300年記念事業(協賛)	23.12.23	—	—	1,050千円		
	「第30回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	24.3.4	—	88名	—		
スポーツ	成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (倉敷マスカット球場)	24.3.10	305	46	—		
	チケットプレゼント プロ野球オープン戦 (倉敷マスカット球場)	24.3.11	581	46	—		
	文化	「第7回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	23.5.14	—	—	100千円	
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「伝統文化を学びなおす-和魂リネサンス」 講師 梶田毅一氏(環太平洋大学長)(リネスホール)	23.8.22、8.24	—	—	300千円	
		「表現と未来」 講師 坂手洋二氏(劇作家・演出家)(天神山文化プラザホール)	H23.10.9～10	—	—	40千円	
		マーチング・イン岡山(協賛) (岡山駅前・さん太広場)	23.11.3	2,326	1,700名	2,178千円	
		「川島基&松本和将スーパーヒーローデュオリサイタル」 (岡山シンフォニーホール)	23.11.19～20	—	—	100千円	
		岡山県民俗芸能大会(協賛) (奈義町文化ホール)	—	—	—	—	

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額	
22	文化	「男子第49回女子第40回 西日本学生ハンドボール選手権大会」(協賛) (桃太郎アリーナ・岡山総合グラウンド体育館)	22.7.10～14	—	—	20千円	
		マルセン小学生ソフトボール教室の開催 (岡山東ーム)	22.8.5	—	92名	288千円	
		「第29回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	22.12.23	—	—	1,050千円	
		チケットプレゼント 女子バレーボール V・プレミアリーグ戦 (桃太郎アリーナ)	23.3.13	410	100名	250千円	
		「第6回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	22.5.15	—	—	100千円	
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「音楽と私」ピアニスト 松本 和将氏 「音楽と私」メゾソプラノ 伊藤 和恵氏 「彫刻の見方」彫刻家 蛭田 二郎氏	22.8.25、8.28、9.1	—	—	470千円	
		チケットプレゼント 「川島 基ピアノリサイタル」 (さん太ホール)	22.9.26	—	30名	105千円	
		チケットプレゼント 特別展「モネとジヴェルニーの画家たち」 チケットプレゼント(成通グループ提供) アンデルセン・ミュージカル「ハンスの冒険」 (倉敷公民館・さん太ホール)	23.2.25～4.10 23.3.19・20・22・23	527	300名	45千円	
		スポーツ	「第28回全国ママさんバスケットボール交歓大会岡山大会」(協賛) (桃太郎アリーナ・岡山市総合文化体育館)	21.8.7～9	—	—	20千円
			「第2回倉敷国際少年野球大会」(協賛) (倉敷マスカット球場)	21.8.22～23	—	—	100千円
「第57回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会」(協賛) (桃太郎スタジアム)	21.9.25～27		—	—	100千円		
「マルセン少年バレーボール教室」 (山陽ふれあい公園体育館)	21.10.18		—	85名	370千円		
「第28回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	21.12.23		—	—	1,050千円		
文化	「第5回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)		21.5.16	—	—	100千円	
	チケットプレゼント 「朝鮮王朝の絵画と日本」 (岡山県立美術館)		21.6.5～7.12	187通	200名	166千円	
	プレゼント 絵はかき(写真コンテスト入賞作品)		21.7.25～29募集	206通	150名	152千円	
	「スポーツ・文化の振興」論文募集・入賞者表彰式		21.9.1～10.31募集	25点	7点	254千円	
	岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「モネと日本-睡蓮かつなく世界」高階秀爾大原美術館長 「古筆の魅力」島谷弘幸東京国立博物館学芸研究部長		21.9.5 / 9.12	—	—	350千円	
	「2009 マーチング・イン・オカヤマ」(協賛)	21.10.11～12	—	—	100千円		
	(株)NHK文化センター 「アンデルセン in ホテルオークラ岡山」(協賛)	22.2.21	—	—	50千円		
	チケットプレゼント 「悠久への帰郷 高橋秀展」 (岡山県立美術館)	22.3.5～4.4	178	100名	84千円		
	スポーツ	「第31回岡山県少年剣道錬成大会」(協賛) (倉敷市水島緑地福田公園体育館)	20.6.7	—	—	100千円	
		「第1回倉敷国際少年野球大会」(協賛) (倉敷マスカット球場)	20.8.23～24	—	—	100千円	
「第27回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)		20.12.23	—	—	1,050千円		
「マルセン少年陸上競技教室」開催 講師 山口衛里(天満屋女子陸上部コーチ) (県陸上競技場 補助グラウンド)		21.3.8	—	255名	320千円		
「第24回全国高等学校新体操選抜大会」(協賛) (桃太郎アリーナ)		21.3.26～28	—	—	100千円		
「第25回全国高等学校体操選抜大会」(協賛) (桃太郎アリーナ)		21.3.28～29	—	—	100千円		
文化		「第4回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美小学校体育館)	20.5.10	—	—	100千円	
		チケットプレゼント 「おかやま国際音楽祭2008」(成通グループ提供) (岡山城天守閣前広場)	20.10.4	444通	100名	—	
		「岡山学びフェスタ2008」「マルセンバレーアート教室」開催 (岡山県生涯学習センター)	20.11.9	—	220名	74千円	
		「おかやま子ども民俗芸能大会」(協賛) (倉敷芸文館)	20.11.8	—	—	100千円	
	岡山県文化連盟「文化講演会」(協賛) 講演 熊倉功夫 伊勢崎 淳	20.11.30 / 12.21	—	—	350千円		
	「マルセン写真コンテスト及び写真展」開催 (天満屋岡山店地下タウン)	21.2.25～3.2	270点	36点	300千円		
	スポーツ	「第30回岡山県少年剣道錬成大会」(協賛) (倉敷市水島緑地福田公園体育館)	19.6.9	—	—	100千円	
		「第26回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	19.12.23	—	—	1,050千円	
		「第56回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	20.2.11	—	—	100千円	
		「マルセン少年サッカー教室」開催 ～湯郷 Belle の選手を招いて～(岡山東ーム)	20.3.8	—	207名	430千円	
文化		「第3回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	19.5.12	—	—	100千円	
		くらしきウィーク 2007 in Kansas City(協賛)	19.7.25～8.1	—	—	100千円	

事業の記録

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
19	文化	岡山県文化連盟「文化講演会」(協賛) 「書道」「美術」「シンポジウム」	19.9.9・15・23	—	—	350千円
		第19回全国生涯学習フェスティバル 「まなびピア岡山2007」「生涯学習見本市」へ出展(桃太郎アリーナ) 「受賞者の写真・高橋大輔選手のコスチューム」等展示	19.11.2～6	県総合グランド入場者 17万2千人	—	480千円
18	文化	「第25回山陽女子ロードレース大会」(協賛) 「第55回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	18.12.23 19.2.11	— —	— —	1,050千円 100千円
		「ポスト国体・フラワーロード事業」(協賛) 「第2回沙美アートフェスト」(協賛) (沙美小学校体育館 展覧会 倉敷市立美術館)	— 18.5.13	— —	— —	100千円 100千円
17	文化	「川島 基ピアノリサイタル」開催 (岡山県立美術館ホール)	18.11.3	431通	200名	400千円
		コミュニティライブラリーの開設 「晴れの国おかやま国体写真展 ああ感動をもう一度!」 表彰者紹介コーナー・映像コーナー設置(岡山会館1階)	18.8.4～19.2.16	—	—	—
16	文化	岡山桃太郎アリーナ落成記念 「オリンピックメダリスト体操競技演技会」(協賛)	17.6.5	—	—	210千円
		「第24回山陽女子ロードレース大会」(協賛) 「第54回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	17.12.23 18.2.11	— —	— —	1,050千円 100千円
17	文化	チケットプレゼント 松本和将「ベートーヴェン3大協奏曲のタペ」 (岡山シンフォニーホール)	17.4.30	—	100名	300千円
		チケットプレゼント 岡山デジタルミュージアム開館記念「新シルクロード展」 「あそべる!おもちゃ展」(協賛) (岡山デジタルミュージアム)	17.10.21～12.18 18.2.17～22	452件 —	100名 —	90千円 100千円
16	文化	「第23回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	16.12.23	—	—	1,050千円
		チケットプレゼント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会 (岡山シンフォニーホール)	17.3.11	710件	100名	360千円

平成30年度 収支計算書(損益計算ベース) (平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:円)

科目	平成30年度			平成30年度			差引額	備考
	公益目的事業	管理事業	予算額	公益目的事業	管理事業	未払金等		
<b>I 一般正味財産増減の部</b>								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	10,000	0	10,000	10,000			10,000	0
定期預金利息	10,000	0	10,000	10,000			10,000	0
受取寄付金	19,800,000	3,200,000	23,000,000	19,800,000	3,200,000		23,000,000	0
受取寄付金	19,800,000	3,200,000	23,000,000	19,800,000	3,200,000		23,000,000	0
雑収益	120	0	120	120	0		120	0
受取利息	120	0	120	120	0		120	0
雑収入	0	0	0	0	0		0	0
<b>経常収益計</b>	<b>19,810,120</b>	<b>3,200,000</b>	<b>23,010,120</b>	<b>19,810,120</b>	<b>3,200,000</b>	<b>0</b>	<b>23,010,120</b>	<b>0</b>
(2) 経常費用								
事業費	20,019,120	0	20,019,120	18,698,833	0	1,144,519	19,843,352	175,768
委員等報酬	124,000		124,000	123,744		0	123,744	256
給料手当	3,783,000		3,783,000	3,505,689		258,034	3,763,723	19,277
法定福利費	648,000		648,000	446,635		186,034	632,669	15,331
福利厚生費	13,000		13,000	9,709		0	9,709	3,291
荷造運賃	180,000		180,000	112,446		64,616	177,062	2,938
賃借料	3,317,000		3,317,000	3,316,726		0	3,316,726	274
交際接待費	10,000		10,000	5,454		0	5,454	4,546
旅費交通費	316,000		316,000	302,934		12,384	315,318	682
通信費	585,055		585,055	531,477		6,922	538,399	46,656
消耗品費	440,000		440,000	427,344		11,868	439,212	788
租税公課	0		0	0		0	0	0
修繕費	0		0	0		0	0	0
助成金	2,043,000		2,043,000	2,043,000		0	2,043,000	0
褒賞金	4,800,000		4,800,000	4,800,000		0	4,800,000	0
諸謝金(イベント事業費)	1,317,000		1,317,000	1,313,418		0	1,313,418	3,582
新聞図書費	47,000		47,000	46,549		0	46,549	451
印刷費	905,000		905,000	294,094		603,180	897,274	7,726
後援費	1,180,000		1,180,000	1,180,000		0	1,180,000	0
保険料	5,000		5,000	3,300		0	3,300	1,700
雑費	306,065		306,065	236,314		1,481	237,795	68,270
管理費		2,991,000	2,991,000		2,894,082	89,462	2,983,544	7,456
役員報酬		433,500	433,500		433,104	0	433,104	396
顧問報酬		11,500	11,500		11,137	0	11,137	363
退職慰労金		0	0		0	0	0	0
給料手当		419,000	419,000		389,522	28,671	418,193	807
法定福利費		71,000	71,000		49,627	20,671	70,298	702
福利厚生費		2,000	2,000		1,079	0	1,079	921
荷造運賃		58,000	58,000		57,868	0	57,868	132
賃借料		543,500	543,500		543,440	0	543,440	60
諸会費		24,000	24,000		24,000	0	24,000	0
交際接待費		252,000	252,000		223,712	28,000	251,712	288
旅費交通費		35,000	35,000		33,100	1,376	34,476	524
通信費		84,000	84,000		80,996	2,240	83,236	764
消耗品費		92,000	92,000		90,327	1,319	91,646	354
新聞図書費		6,000	6,000		5,173	0	5,173	827
租税公課		2,000	2,000		1,580	0	1,580	420
修繕費		0	0		0	0	0	0
諸謝金(イベント事業費)		564,000	564,000		563,560	0	563,560	440
印刷費		61,000	61,000		53,925	7,020	60,945	55
周年事業費		0	0		0	0	0	0
雑費		332,500	332,500		331,932	165	332,097	403
<b>経常費用計</b>	<b>20,019,120</b>	<b>2,991,000</b>	<b>23,010,120</b>	<b>19,843,352</b>	<b>2,983,544</b>	<b>—</b>	<b>22,826,896</b>	<b>175,768</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△209,000</b>	<b>209,000</b>	<b>0</b>	<b>△33,232</b>	<b>216,456</b>	<b>—</b>	<b>183,224</b>	
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
(2) 経常外費用								
当期経常外増減額								
当期一般正味財産増減額	△209,000	209,000	0	△33,232	216,456	—	183,224	
一般正味財産期首残高	△111,556	882,850	771,294	△63,105	1,475,156	—	1,412,051	
一般正味財産期末残高	△320,556	1,091,850	771,294	△96,337	1,691,612	—	1,595,275	
<b>II 指定正味財産の部</b>								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	—	0	
指定正味財産期首残額	100,000,000	0	100,000,000	100,000,000	0	—	100,000,000	
指定正味財産期末残額	100,000,000	0	100,000,000	100,000,000	0	—	100,000,000	
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>99,679,444</b>	<b>1,091,850</b>	<b>100,771,294</b>	<b>99,903,663</b>	<b>1,691,612</b>	<b>—</b>	<b>101,595,275</b>	

## 貸借対照表 (平成31年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	2,486,012	2,464,799	21,213
前払金			
貯蔵品	0	4,224	△ 4,224
未収金	49,781	112,964	△ 63,183
仮払金	0	0	
前払費用	302,886	105,078	197,808
未収消費税			0
立替金			0
流動資産合計	2,838,679	2,687,065	151,614
2 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2)特定資産			
特定預金	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
ソフトウェア	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	100,000,000	100,000,000	0
資産合計	102,838,679	102,687,065	151,614
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	1,233,981	1,255,874	△ 21,893
預り金	9,423	19,140	△ 9,717
未払消費税等	0	0	0
未払法人税及び住民税	0	0	0
流動負債合計	1,243,404	1,275,014	△ 31,610
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,243,404	1,275,014	△ 31,610
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	1,595,275	1,412,051	183,224
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	101,595,275	101,412,051	183,224
負債及び正味財産合計	102,838,679	102,687,065	151,614